令和 9 (2027) 年度

学習院大学大学院
人文科学研究科

募集要項

人文科学研究科

博士前期課程　　博士後期課程

- 哲学専攻
- 美術史学専攻
- 史学専攻
- 日本語日本文学専攻
- 英語英米文学専攻
- ドイツ語ドイツ文学専攻
- フランス文学専攻
- 心理学専攻
- 臨床心理学専攻
- 教育学専攻
- アーカイブズ学専攻
- 身体表象文化学専攻

必ずお読みください

入試情報 Web サイトに掲載している「募集要項（研究科共通）」もあわせて確認してください。
本要項の記載内容は変更となる場合があります。最新の情報は本学入試情報ホームページに掲載する「入試制度の変更点」にてお知らせしますので、必ず出願前（入学検定料納付前）及び受験前にご確認ください。

学 習 院 大 学

目　　次

研究科・専攻・定員……2

入学試験日程……3

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）……3

博士前期課程

秋期入学試験…… 5 － 10

春期入学試験…… 11 － 16

博士後期課程…… 18 － 22

志願票記入例…… 23

人文科学研究科の概要…… 25 － 41

研究科・専攻・定員

研究科	専攻	前期課程		後期課程	
		入学定員(名)	収容定員(名)	入学定員(名)	収容定員(名)
人文科学研究科	哲学専攻	10	20	3	9
	美術史学専攻	10	20	3	9
	史学専攻	15	30	3	9
	日本語日本文学専攻	20	40	3	9
	英語英米文学専攻	10	20	3	9
	ドイツ語ドイツ文学専攻	5	10	2	6
	フランス文学専攻	5	10	2	6
	心理学専攻	6	12	2	6
	臨床心理学専攻	12	24	3	9
	教育学専攻	20	40	5	15
	アーカイブズ学専攻	15	30	3	9
	身体表象文化学専攻	10	20	3	9

令和９（2027）年度　入学試験日程

博士前期課程　　※学内推薦を除きます。

研究科・試験区分		出願照会期間	入学検定料振込期間	出願期間	試　験　日	合格発表日	入学手続締切日	延納分納入締切日
人文科学	秋期	令和8(2026)年 7月15日(水) ～7月17日(金)	8月3日(月) ～8月17日(月)	8月13日(木) ～8月17日(月)	筆記 9月19日(土) 口述 9月19日(土) 20日(日)	9月25日(金) (10：00)	10月9日(金)	令和9(2027)年 3月5日(金)
	春期	11月25日(水) ～11月27日(金)	令和9(2027)年 1月5日(火) ～1月14日(木)	1月12日(火) ～1月14日(木)	筆記 2月20日(土) 口述 2月20日(土) 21日(日)	2月26日(金) (10：00)	3月5日(金)	

博士後期課程　　※学内推薦を除きます。

研究科・試験区分		出願照会期間	入学検定料振込期間	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日	延納分納入締切日
人文科学	春期	11月25日(水) ～11月27日(金)	令和9(2027)年 1月5日(火) ～1月14日(木)	1月12日(火) ～1月14日(木)	筆記 2月20日(土) 口述 2月20日(土) 21日(日)	2月26日(金) (10：00)	3月5日(金)	

※上記日程は変更となる場合があります。最新の情報は本学入試情報ホームページに掲載する「入試制度の変更点」にてお知らせしますので、必ず出願前（入学検定料納付前）及び受験前にご確認ください。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）は、以下の QR コードよりご確認ください。

【博士前期課程】

博士前期課程（秋期入学試験）

1 募集人員

研究科	専攻	募集人員
人文科学研究科	哲学専攻	約4名
	美術史学専攻	約5名
	史学専攻	約8名
	日本語日本文学専攻	約10名
	英語英米文学専攻	約5名
	ドイツ語ドイツ文学専攻	約2名
	フランス文学専攻	約2名
	心理学専攻	約4名
	臨床心理学専攻	約9名
	教育学専攻	約10名
	アーカイブズ学専攻	約8名
	身体表象文化学専攻	約5名

2 出願資格

1. 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者又は令和9（2027）年3月31日までに卒業見込みの者
2. 学校教育法施行規則第155条第1項の規定により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、次の（1）から（9）までのいずれかに該当する者
   (1) 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者又は令和9（2027）年3月31日までに授与される見込みの者
   (2) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者又は令和9（2027）年3月31日までに修了見込みの者
   (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国内において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者又は令和9（2027）年3月31日までに修了見込みの者
   (4) 日本国内において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は令和9（2027）年3月31日までに修了見込みの者
   (5) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国内において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって（4）の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者又は令和9（2027）年3月31日までに授与される見込みの者
   (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は令和9（2027）年3月31日までに修了見込みの者
   (7) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
   (8) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの

(9) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時に 22 歳に達するもの

※最終学歴が中国の大学の専科（3 年制）の場合には、出願資格がありません。ただし、専科を卒業後に本科を卒業して 16 年の学校教育を修了した場合は、出願を認めます。

[注意事項]

1. 上記出願資格 2 (3)、(5)、(8) 又は (9) で出願しようとする者については、あらかじめ出願資格の認定審査を行いますので、出願照会期間内に本学アドミッションセンターに「出願資格審査申請書」と併せ、入学志願票、成績証明書、卒業証明書（外国の大学を卒業した場合は、取得学位（学士）が記載されているもの）のコピーを郵送にて提出してください。

   出願照会期間　令和 8（2026）年 7 月 15 日（水）～ 7 月 17 日（金）

   本申請書は、本学入試情報ホームページよりダウンロードすることができます。

   https://www.univ.gakushuin.ac.jp/admissions/qualification/
2. 上記の有資格者で、現在就業中の者が入学後に職業を継続することは、学業に差支えない限り、これを妨げません。

3 合否判定の方法及び基準

筆記試験、口述試験及び出身校の学業成績により総合的に合否判定を行います。

4 学力検査等の内容

筆記試験　9 月 19 日（土）－西 2 号館で実施

口述試験　9 月 19 日（土）又は 20 日（日）－西 2 号館、北 2 号館、北 1 号館で実施

9 月 19 日（土）に口述試験が終了した場合、9 月 20 日（日）の口述試験はありません。

口述試験の日時は、受験票発送時にお知らせします。遠距離受験等の事情には配慮します。

<table>
<tr><td>月　日
専　攻</td><td colspan="4">9 月 19 日（土）</td><td>9 月 20 日（日）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">哲　学　専　攻</td><td>9：00～10：00</td><td>10：20～12：20</td><td>13：10～14：10</td><td>15：00～</td><td>10：00～</td></tr>
<tr><td>哲学史及び思想史</td><td>外国語原書読解（注 1）
英・独・仏・古典ギリシア語・古典ラテン語・漢文・（日）のうちから 2 科目</td><td>論　　文</td><td>口 述 試 験</td><td>口 述 試 験</td></tr>
<tr><td rowspan="2">美術史学専攻</td><td>9：00 ～ 10：00</td><td>10：20～11：50</td><td>13：10～14：10</td><td>15：00～</td><td>10：00～</td></tr>
<tr><td>美術史</td><td>外国語原書読解（注 1）
英語（60 分）及び独・仏・伊・漢文・（日）のうちから 1 科目（30 分）</td><td>論　　文</td><td>口 述 試 験</td><td>口 述 試 験</td></tr>
<tr><td rowspan="2">史　学　専　攻</td><td>9：00～10：00</td><td>10：20～12：20</td><td colspan="2">14：00～</td><td></td></tr>
<tr><td>外国語（注 4）
英・独・仏・中・（日）のうちから 1 言語</td><td>日本史・東洋史・西洋史（以上のうちから 1 科目）</td><td colspan="2">口 述 試 験</td><td></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>月　日
専　攻</td><td colspan="3">9月19日（土）</td><td>9月20日（日）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日　本　語
日本文学専攻</td><td>9：00～10：00</td><td>10：20～12：20</td><td>13：10～</td><td></td></tr>
<tr><td>外国語（注4）
英・独・仏・中・（日）のうちから1言語</td><td>日本語学・日本文学</td><td>口　述　試　験</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">英　語　英　米
文　学　専　攻</td><td>9：00～10：00</td><td>10：20～11：50</td><td>13：00～</td><td></td></tr>
<tr><td>英語</td><td>分野別基礎知識・論文（注5）</td><td>口　述　試　験</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">ドイツ語ドイツ
文　学　専　攻</td><td>9：00～10：00</td><td>10：20～12：20</td><td>14：00～</td><td></td></tr>
<tr><td>外国語（注4）
英・仏のうちから1言語</td><td>ドイツ語及び専門知識</td><td>口　述　試　験</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">フ　ラ　ン　ス
文　学　専　攻</td><td>9：00～10：00</td><td>10：20～12：20</td><td>13：10～</td><td></td></tr>
<tr><td>外国語（注4）
英・独のうちから1言語</td><td>仏文学・仏語学・仏文読解</td><td>口　述　試　験</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">心　理　学　専　攻</td><td>9：00～10：00</td><td>10：20～12：20</td><td>13：30～</td><td></td></tr>
<tr><td>外国語（注4）
英・独・仏のうちから1言語</td><td>心　理　学</td><td>口　述　試　験</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">臨床心理学専攻</td><td>9：00～10：00</td><td>10：20～12：20</td><td>13：10～14：10</td><td>15：00～</td><td></td></tr>
<tr><td>外国語（注4）
英・独・仏のうちから1言語</td><td>臨床心理学Ⅰ</td><td>臨床心理学Ⅱ</td><td>口　述　試　験</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">教　育　学　専　攻</td><td>9：00～10：00</td><td>10：20～12：20</td><td>13：10～14：10</td><td>15：00～</td><td></td></tr>
<tr><td>教育学専門Ⅰ
(基礎知識)</td><td>教育学専門Ⅱ
(小論文)</td><td>外国語原書読解（注2）
英・（日）のうちから1言語</td><td>口　述　試　験</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">アーカイブズ学
専　　攻</td><td>9：00～10：00</td><td>10：20～12：20</td><td colspan="2"></td><td>10：00～</td></tr>
<tr><td>外国語（注4）
英・独・仏・中・（日）のうちから1言語</td><td>アーカイブズ学に関する基本知識・論文</td><td colspan="2"></td><td>口　述　試　験</td></tr>
<tr><td rowspan="2">身体表象文化学
専　　攻</td><td>9：00～10：00</td><td>10：20～12：20</td><td colspan="2"></td><td>10：00～</td></tr>
<tr><td>外国語（注4）
英・独・仏のうちから1言語</td><td>選択した領域に関する論文（注6）</td><td colspan="2"></td><td>口　述　試　験</td></tr>
</table>

※外国人受験生（外国籍を有し、外国所在の外国の高等学校を卒業又は修了した者）の外国語原書読解・外国語試験について

●外国人受験生（日本語を母語としない者）は、外国語原書読解･外国語試験として、母語を選ぶことはできません。

●哲学専攻・美術史学専攻・史学専攻・日本語日本文学専攻・教育学専攻・アーカイブズ学専攻を志望する外国人受験生は、外国語原書読解・外国語試験として日本語を選ぶことができます。

注1. 哲学専攻の外国語原書読解については、選択した2科目の辞書をそれぞれ1冊、また美術史学専攻の外国語原書読解については､英語及び選択した1科目の辞書をそれぞれ1冊､持ち込むことができます（電子辞書は不可）。なお、辞書の貸与は一切しません。

2. 学校教育法の定める学校で教職経験等が通算3年以上、又は児童福祉法に定める児童福祉に関わる保育士等の業務経験が通算3年以上（いずれも非常勤を含む、通算可）の者は、辞書を持ち込むことができます。（電子辞書、携帯電話は不可）。なお、辞書の貸与は一切しません。この条件で辞書持ち込みを希望する者は、出願時に履歴書（所定の書式）を添付して資格の判定を申請してください。

3. 上記1.の哲学専攻･美術史学専攻の外国語原書読解以外の全ての科目については､辞書の使用を認めません｡ただし､上記2.において辞書の持ち込みを許可された場合は、辞書の使用を認めます。
4. ドイツ語、フランス語の試験は、それぞれドイツ語技能検定試験3級、実用フランス語技能検定試験3級程度の知識を前提とします。
5. i英語圏の文学・文化、ii英語学の2分野から1つを選択します。
6. 選択する領域は､i舞台芸術､ii映像芸術､iiiマンガ･アニメーション芸術､ivジェンダー表象のいずれか1つとします。

［受験上の注意］

1. 試験当日は、必ず受験票を持参してください。
2. 受験票を紛失した場合には、試験開始10分前までに試験本部に申し出てください。
3. 試験開始後20分を経過した場合には入室を認めません。
4. 公共交通機関の遅延により間に合わなかった場合には、該当の公共交通機関の発行した遅延証明書を持って試験本部に申し出てください。
5. 試験時間中、机の上に置けるものは、鉛筆・シャープペンシル・ボールペン（いずれも黒又は青のみ）・消しゴム・時計・受験票のみです。携帯電話・スマートフォン・スマートウォッチ・スマートグラス等の通信機器を時計として使用することは禁止します。
6. 携帯電話・スマートフォン・スマートウォッチ・スマートグラス等の通信機器は、試験室に入る前に電源を切っておくとともに、アラーム機能を解除しておいてください。携帯電話・時計等の電子機器が鳴動した場合には、監督者が受験者本人の了承を得ずに該当物（鞄等に入っている場合は鞄ごと）を試験室外に持ち出し、試験本部で試験終了まで保管します。
7. 試験室内での撮影・録画・録音を禁止します。
8. 試験開始後40分間は退出を認めません。
9. 試験科目のいずれかひとつでも欠席した場合は、不合格となります。

5 出願手続

1. 出願期間　令和8（2026）年8月13日（木）～8月17日（月）
2. 出願方法

出願者は、次の書類（1）～（9）を一括して、本学アドミッションセンターに提出してください。

※本学の卒業生及び卒業見込者は、出願時に（5）の書類を必要としません。

郵送の場合は、簡易書留（かつ速達扱い）で本学アドミッションセンター宛に送付してください。（出願期間最終日必着）

窓口提出の場合は、出願期間内にアドミッションセンター窓口まで持参してください。※窓口受付時間外の提出不可、8月15日（土）、16日（日）は窓口閉室となります。一度提出した書類は原則として返還しません。

①出願書類は、各自用意した封筒（角形2号）の中に入れ、封筒の表面に所定の出願封筒貼付用紙を貼付して提出してください。

②論文（卒業論文）は、試験終了後返送しますので、返送先の住所氏名を明記した封筒に入れて①に同封してください。

③②が各自用意した封筒（角形2号）に入りきらない場合は、①と②を大きな封筒に入れて提出してください。

（1）入学志願票（本学所定の用紙。身体表象文化学専攻については専攻所定の用紙、A4サイズ）

※入学志願票に記入する「希望する指導教員名」については、25頁以降の「人文科学研究科の概要」等を

参照してください。

(2) 写真票（本学所定の用紙、A4 サイズ）

※写真 1 枚（3 か月以内に撮影したもので、アプリ等で画像（顔等）を加工しておらず、受験時に本人と確認できるもの。縦 4cm ×横 3cm。写真票に貼付してください）

※受験時に本人と確認できない場合は、身分証明書等で本人確認を行います。

なお、出願書類を提出してから 9 月 11 日（金）までに受験票が到着しない場合は、必ず本学アドミッションセンターまで問合せてください。

(3) 成績証明書（学部）

※和文又は英文以外の場合は、和訳又は英訳し、翻訳された内容が原本と相違ないことの証明を大使館等で受けて提出してください（原本も必ず提出してください）。

※中国の大学（大学院）を卒業（修了）した方は別紙「中国の大学（大学院）を卒業（修了）した者の提出書類」を参照のうえ、書類を提出してください。

(4) 入学後の研究計画書（本学所定の用紙。史学専攻については専攻所定の用紙、A4 サイズ、HP よりダウンロード）

(5) 卒業証明書又は卒業見込証明書（学部）

※外国の大学を卒業した場合は、取得学位（学士）が記載されているものを提出してください。

※和文又は英文以外の場合は、和訳又は英訳し、翻訳された内容が原本と相違ないことの証明を大使館等で受けて提出してください（原本も必ず提出してください）。

※中国の大学（大学院）を卒業（修了）した方は別紙「中国の大学（大学院）を卒業（修了）した者の提出書類」を参照のうえ、書類を提出してください。

(6) 外国人志願者の場合は①在留カード（表面のみ）又は②パスポートのいずれかのコピー

(7) 提出書類記載の氏名が婚姻等により現在の氏名と異なる場合は、同一人物であることを証明する公的書類（戸籍抄本等）

(8) 入学検定料振込金受取書（提出用）

※入学検定料振込依頼票の依頼人欄のコードには『30』と記入してください。

(9) 論文（卒業論文）〔本人宛名明記の封筒に入れてください（切手の貼付不要）。口述試験後返却します。〕

ⅰ）哲学専攻、美術史学専攻、英語英米文学専攻、フランス文学専攻、心理学専攻、臨床心理学専攻、アーカイブズ学専攻、身体表象文化学専攻については、論文（卒業論文又はそれに代わる論文）がある場合には、論文又はその写し 1 部を提出してください。

ⅱ）史学専攻、日本語日本文学専攻、ドイツ語ドイツ文学専攻、教育学専攻については、論文の提出を必要としません。

	哲	美	史	日	英	ド	フ	心	臨	教	ア	身
ⅰ）あれば提出	○	○			○		○	○	○		○	○
ⅱ）不要			○	○		○				○		

※論文は、日本語又は英語で書かれたものを提出してください。

奨学金・研究費

人文科学研究科特別研究費について

人文科学研究科に在籍する大学院生の研究を支援するため、博士前期課程においては 5 万円、博士後期課程においては 20 万円を申請者全員に研究費として給付しています。

臨床心理学専攻

臨床心理士受験資格について

従来どおり臨床心理士養成指定大学院として必要単位数を履修することで、臨床心理士受験資格が得られます（臨床心理士受験においては、学部での履修科目は関係ありません）。

公認心理師受験資格対応について

心理学分野の国家資格である公認心理師法が 2017 年 9 月に施行されました。

それに伴い学習院大学人文科学研究科臨床心理学専攻博士前期課程では、2018 年度から大学院における公認心理師受験資格を満たす 10 科目を開設しており、公認心理師受験資格カリキュラムにも対応しています。

なお、公認心理師受験資格を得るためには、本学臨床心理学専攻博士前期課程入学以前に、学部において所定の科目を履修し卒業していることが必要です。所定科目の履修状況については、出身大学に問い合わせてください。

博士前期課程（春期入学試験）

1 募集人員

研究科	専攻	募集人員
人文科学研究科	哲学専攻	約6名
	美術史学専攻	約5名
	史学専攻	約7名
	日本語日本文学専攻	約10名
	英語英米文学専攻	約5名
	ドイツ語ドイツ文学専攻	約3名
	フランス文学専攻	約3名
	心理学専攻	約2名
	臨床心理学専攻	約3名
	教育学専攻	約10名
	アーカイブズ学専攻	約7名
	身体表象文化学専攻	約5名

2 出願資格

1. 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者又は令和9（2027）年3月31日までに卒業見込みの者
2. 学校教育法施行規則第155条第1項の規定により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、次の（1）から（9）までのいずれかに該当する者
   (1) 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者又は令和9（2027）年3月31日までに授与される見込みの者
   (2) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者又は令和9（2027）年3月31日までに修了見込みの者
   (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国内において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者又は令和9（2027）年3月31日までに修了見込みの者
   (4) 日本国内において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は令和9（2027）年3月31日までに修了見込みの者
   (5) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国内において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって（4）の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者又は令和9（2027）年3月31日までに授与される見込みの者
   (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は令和9（2027）年3月31日までに修了見込みの者
   (7) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
   (8) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本研究科において、大学院に

おける教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの

(9) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時に 22 歳に達するもの

※最終学歴が中国の大学の専科（3 年制）の場合には、出願資格がありません。ただし、専科を卒業後に本科を卒業して 16 年の学校教育を修了した場合は、出願を認めます。

［注意事項］

1. 上記出願資格 2 (3)、(5)、(8) 又は (9) で出願しようとする者については、あらかじめ出願資格の認定審査を行いますので、出願照会期間内に本学アドミッションセンターに「出願資格審査申請書」と併せ、入学志願票、成績証明書、卒業証明書（外国の大学を卒業した場合は、取得学位（学士）が記載されているもの）のコピーを郵送にて提出してください。

   出願照会期間　令和 8（2026）年 11 月 25 日（水）～ 11 月 27 日（金）

   本申請書は、本学入試情報ホームページよりダウンロードすることができます。

   https://www.univ.gakushuin.ac.jp/admissions/qualification/

3 合否判定の方法及び基準

筆記試験、口述試験及び出身校の学業成績により総合的に合否判定を行います。

4 学力検査等の内容

筆記試験　2 月 20 日（土）－西 2 号館で実施

口述試験　2 月 20 日（土）又は 21 日（日）－西 2 号館、北 2 号館、北 1 号館で実施

2 月 20 日（土）に口述試験が終了した場合、2 月 21 日（日）の口述試験はありません。

口述試験の日時は、受験票発送時にお知らせします。遠距離受験等の事情には配慮します。

<table>
<tr><th>月　日
専　攻</th><th colspan="4">2 月 20 日（土）</th><th>2 月 21 日（日）</th></tr>
<tr><td rowspan="2">哲　学　専　攻</td><td>9：00～10：00</td><td>10：20～12：20</td><td>13：10～14：10</td><td>15：00～</td><td>10：00～</td></tr>
<tr><td>哲学史及び思想史</td><td>外国語原書読解（注 1）
英・独・仏・古典ギリシア語・古典ラテン語・漢文・（日）のうちから 2 科目</td><td>論　　文</td><td>口 述 試 験</td><td>口 述 試 験</td></tr>
<tr><td rowspan="2">美術史学専攻</td><td>9：00 ～ 10：00</td><td>10：20～11：50</td><td>13：10～14：10</td><td>15：00～</td><td>10：00～</td></tr>
<tr><td>美術史</td><td>外国語原書読解（注 1）
英語（60 分）及び独・仏・伊・漢文・（日）のうちから 1 科目（30 分）</td><td>論　　文</td><td>口 述 試 験</td><td>口 述 試 験</td></tr>
<tr><td rowspan="2">史　学　専　攻</td><td>9：00～10：00</td><td>10：20～12：20</td><td colspan="2">14：00～</td><td></td></tr>
<tr><td>外国語（注 4）
英・独・仏・中・（日）のうちから 1 言語</td><td>日本史・東洋史・西洋史（以上のうちから 1 科目）</td><td colspan="2">口 述 試 験</td><td></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>月　日
専　攻</td><td colspan="4">2月20日（土）</td><td>2月21日（日）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日　本　語
日本文学専攻</td><td>9：00～10：00</td><td colspan="3">10：30～</td><td></td></tr>
<tr><td>外国語（注4）
英・独・仏・中・（日）のうちから1言語</td><td colspan="3">口　述　試　験</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">英　語　英　米
文　学　専　攻</td><td>9：00～10：00</td><td>10：20～11：50</td><td colspan="2">13：00～</td><td></td></tr>
<tr><td>英語</td><td>分野別基礎知識・論文（注5）</td><td colspan="2">口　述　試　験</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">ドイツ語ドイツ
文　学　専　攻</td><td>9：00～10：00</td><td>10：20～12：20</td><td colspan="2">14：00～</td><td></td></tr>
<tr><td>外国語（注4）
英・仏のうちから1言語</td><td>ドイツ語及び専門知識</td><td colspan="2">口　述　試　験</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">フ　ラ　ン　ス
文　学　専　攻</td><td>9：00～10：00</td><td>10：20～12：20</td><td colspan="2">13：10～</td><td></td></tr>
<tr><td>外国語（注4）
英・独のうちから1言語</td><td>仏文学・仏語学・仏文読解</td><td colspan="2">口　述　試　験</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">心　理　学　専　攻</td><td>9：00～10：00</td><td>10：20～12：20</td><td colspan="2">13：30～</td><td></td></tr>
<tr><td>外国語（注4）
英・独・仏のうちから1言語</td><td>心　理　学</td><td colspan="2">口　述　試　験</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">臨床心理学専攻</td><td>9：00～10：00</td><td>10：20～12：20</td><td>13：10～14：10</td><td>15：00～</td><td></td></tr>
<tr><td>外国語（注4）
英・独・仏のうちから1言語</td><td>臨床心理学Ⅰ</td><td>臨床心理学Ⅱ</td><td>口　述　試　験</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">教　育　学　専　攻</td><td>9：00～10：00</td><td>10：20～12：20</td><td>13：10～14：10</td><td>15：00～</td><td></td></tr>
<tr><td>教育学専門Ⅰ
(基礎知識)</td><td>教育学専門Ⅱ
(小論文)</td><td>外国語原書読解（注2）
英・（日）のうちから1言語</td><td>口　述　試　験</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">アーカイブズ学
専　　攻</td><td>9：00～10：00</td><td>10：20～12：20</td><td colspan="2"></td><td>10：00～</td></tr>
<tr><td>外国語（注4）
英・独・仏・中・（日）のうちから1言語</td><td>アーカイブズ学に関する基本知識・論文</td><td colspan="2"></td><td>口　述　試　験</td></tr>
<tr><td rowspan="2">身体表象文化学
専　　攻</td><td>9：00～10：00</td><td>10：20～12：20</td><td colspan="2"></td><td>10：00～</td></tr>
<tr><td>外国語（注4）
英・独・仏のうちから1言語</td><td>選択した領域に関する論文（注6）</td><td colspan="2"></td><td>口　述　試　験</td></tr>
</table>

※外国人受験生（外国籍を有し、外国所在の外国の高等学校を卒業又は修了した者）の外国語原書読解・外国語試験について

●外国人受験生（日本語を母語としない者）は、外国語原書読解･外国語試験として、母語を選ぶことはできません。

●哲学専攻・美術史学専攻・史学専攻・日本語日本文学専攻・教育学専攻・アーカイブズ学専攻を志望する外国人受験生は、外国語原書読解・外国語試験として日本語を選ぶことができます。

注1. 哲学専攻の外国語原書読解については、選択した2科目の辞書をそれぞれ1冊、また美術史学専攻の外国語原書読解については､英語及び選択した1科目の辞書をそれぞれ1冊､持ち込むことができます（電子辞書は不可）。なお、辞書の貸与は一切しません。

2. 学校教育法の定める学校で教職経験等が通算3年以上、又は児童福祉法に定める児童福祉に関わる保育士等の業務経験が通算3年以上（いずれも非常勤を含む、通算可）の者は、辞書を持ち込むことができます。（電子辞書、携帯電話は不可）。なお、辞書の貸与は一切しません。この条件で辞書持ち込みを希望する者は、出願時に履歴書（所定の書式）を添付して資格の判定を申請してください。

3. 上記1.の哲学専攻･美術史学専攻の外国語原書読解以外の全ての科目については､辞書の使用を認めません｡ただし､上記2.において辞書の持ち込みを許可された場合は、辞書の使用を認めます。
4. ドイツ語、フランス語の試験は、それぞれドイツ語技能検定試験3級、実用フランス語技能検定試験3級程度の知識を前提とします。
5. i英語圏の文学・文化、ii英語学の2分野から1つを選択します。
6. 選択する領域は､i舞台芸術､ii映像芸術､iiiマンガ･アニメーション芸術､ivジェンダー表象のいずれか1つとします。

[受験上の注意]

1. 試験当日は、必ず受験票を持参してください。
2. 受験票を紛失した場合には、試験開始10分前までに試験本部に申し出てください。
3. 試験開始後20分を経過した場合には入室を認めません。
4. 公共交通機関の遅延により間に合わなかった場合には、該当の公共交通機関の発行した遅延証明書を持って試験本部に申し出てください。
5. 試験時間中、机の上に置けるものは、鉛筆・シャープペンシル・ボールペン（いずれも黒又は青のみ）・消しゴム・時計・受験票のみです。携帯電話・スマートフォン・スマートウォッチ・スマートグラス等の通信機器を時計として使用することは禁止します。
6. 携帯電話・スマートフォン・スマートウォッチ・スマートグラス等の通信機器は、試験室に入る前に電源を切っておくとともに、アラーム機能を解除しておいてください。携帯電話・時計等の電子機器が鳴動した場合には、監督者が受験者本人の了承を得ずに該当物（鞄等に入っている場合は鞄ごと）を試験室外に持ち出し、試験本部で試験終了まで保管します。
7. 試験室内での撮影・録画・録音を禁止します。
8. 試験科目のいずれかひとつでも欠席した場合は、不合格となります。

5 出願手続

1. 出願期間　令和9（2027）年1月12日（火）～1月14日（木）
2. 出願方法

出願者は、次の（1）～（9）の書類を一括して、本学アドミッションセンターに提出してください。

※本学の卒業生及び卒業見込者は、出願時に（5）の書類を必要としません。

郵送の場合は、簡易書留（かつ速達扱い）で本学アドミッションセンター宛に送付してください。（出願期間最終日必着）

窓口提出の場合は、出願期間内にアドミッションセンター窓口まで持参してください。※窓口受付時間外の提出不可。一度提出した書類は原則として返還しません。

①出願書類は、各自用意した封筒（角形2号）の中に入れ、封筒の表面に所定の出願封筒貼付用紙を貼付して提出してください。

②論文（卒業論文）は、試験終了後返送しますので、返送先の住所氏名を明記した封筒に入れて①に同封してください。

③②が各自用意した封筒（角形2号）に入りきらない場合は、①と②を大きな封筒に入れて提出してください。

（1）入学志願票（本学所定の用紙。身体表象文化学専攻については専攻所定の用紙、A4サイズ）

※入学志願票に記入する「希望する指導教員名」については、25頁以降の「人文科学研究科の概要」等を参照してください。

（2）写真票（本学所定の用紙、A4サイズ）

※写真１枚（3 か月以内に撮影したもので、アプリ等で画像（顔等）を加工しておらず、受験時に本人と確認できるもの。縦 4cm ×横 3cm。写真票に貼付してください）

※受験時に本人と確認できない場合は、身分証明書等で本人確認を行います。

(3) 成績証明書（学部）

※和文又は英文以外の場合は、和訳又は英訳し、翻訳された内容が原本と相違ないことの証明を大使館等で受けて提出してください（原本も必ず提出してください）。

※中国の大学（大学院）を卒業（修了）した方は別紙「中国の大学（大学院）を卒業（修了）した者の提出書類」を参照のうえ、書類を提出してください。

(4) 入学後の研究計画書（本学所定の用紙、A4 サイズ、HP よりダウンロード）

(5) 卒業証明書又は卒業見込証明書（学部）

※外国の大学を卒業した場合は、取得学位（学士）が記載されているものを提出してください。

※和文又は英文以外の場合は、和訳又は英訳し、翻訳された内容が原本と相違ないことの証明を大使館等で受けて提出してください（原本も必ず提出してください）。

※中国の大学（大学院）を卒業（修了）した方は別紙「中国の大学（大学院）を卒業（修了）した者の提出書類」を参照のうえ、書類を提出してください。

(6) 外国人志願者の場合は①在留カード（表面のみ）又は②パスポートのいずれかのコピー

(7) 提出書類記載の氏名が婚姻等により現在の氏名と異なる場合は、同一人物であることを証明する公的書類（戸籍抄本等）

(8) 入学検定料振込金受取書（提出用）

※入学検定料振込依頼票の依頼人欄のコードには『30』と記入してください。

(9) 論文（卒業論文）〔本人宛名明記の封筒に入れてください（切手の貼付不要）。口述試験後返却します。〕

ⅰ）哲学専攻、美術史学専攻、史学専攻については、論文（卒業論文又はそれに代わる論文）又はその写し１部を提出してください。出身大学で卒業論文を課されていない場合であっても、論文の提出は必要です。

ⅱ）日本語日本文学専攻については、論文（卒業論文又はそれに代わる 4000 字以上の論文）又はその写し１部を提出してください。出身大学で卒業論文を課されていない場合であっても、論文の提出は必要です。なお、卒業論文が大学院での研究テーマ（日本文学・日本語学・日本語教育・言語学等）と大きく異なる場合（例えば、心理学や経済学）は、予定する研究テーマに即した内容の論文を、卒業論文に代わるものとして提出することが望まれます。

ⅲ）英語英米文学専攻、ドイツ語ドイツ文学専攻、フランス文学専攻、心理学専攻、臨床心理学専攻、アーカイブズ学専攻、身体表象文化学専攻については、論文（卒業論文又はそれに代わる論文）がある場合は、論文又はその写し１部を提出してください。

ⅳ）教育学専攻については、論文の提出を必要としません。

	哲	美	史	日	英	ド	フ	心	臨	教	ア	身
ⅰ）ⅱ）必須	○	○	○	○								
ⅲ）あれば提出					○	○	○	○	○		○	○

※論文は、日本語又は英語で書かれたものを提出してください。

※本学卒業見込者で卒業論文を 12 月に提出した者は、改めて論文を提出する必要はありません。
ただし、本学卒業見込者であっても在籍する学科と異なる専攻に出願する場合には、上記の定めに従って論文（卒業論文又はそれに代わる論文）を提出する必要があります。なお、本学卒業者は在籍した学科と同じ専攻、異なる専攻のいずれに出願する場合も、上記の定めに従って論文（卒業論文又はそれに代わる論文）を提出する必要があります。

奨学金・研究費

人文科学研究科特別研究費について

人文科学研究科に在籍する大学院生の研究を支援するため、博士前期課程においては 5 万円、博士後期課程においては 20 万円を申請者全員に研究費として給付しています。

臨床心理学専攻

臨床心理士受験資格について

従来どおり臨床心理士養成指定大学院として必要単位数を履修することで、臨床心理士受験資格が得られます（臨床心理士受験においては、学部での履修科目は関係ありません）。

公認心理師受験資格対応について

心理学分野の国家資格である公認心理師法が 2017 年 9 月に施行されました。
それに伴い学習院大学人文科学研究科臨床心理学専攻博士前期課程では、2018 年度から大学院における公認心理師受験資格を満たす 10 科目を開設しており、公認心理師受験資格カリキュラムにも対応しています。
なお、公認心理師受験資格を得るためには、本学臨床心理学専攻博士前期課程入学以前に、学部において所定の科目を履修し卒業していることが必要です。所定科目の履修状況については、出身大学に問い合わせてください。

【博士後期課程】

博士後期課程

1 募集人員

研究科	専攻	募集人員
人文科学研究科	哲学専攻	約3名
	美術史学専攻	約3名
	史学専攻	約3名
	日本語日本文学専攻	約3名
	英語英米文学専攻	約3名
	ドイツ語ドイツ文学専攻	約2名
	フランス文学専攻	約2名
	心理学専攻	約2名
	臨床心理学専攻	約3名
	教育学専攻	約5名
	アーカイブズ学専攻	約3名
	身体表象文化学専攻	約3名

2 出願資格

1. 修士の学位若しくは専門職学位を有する者又は令和9（2027）年3月31日までに授与される見込みのある者
2. 学校教育法施行規則第156条の規定により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められる者で、次の（1）～（7）のいずれかに該当する者
   （1）外国において、修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者又は令和9（2027）年3月31日までに授与される見込みのある者
   （2）外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国内において履修し、修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者又は令和9（2027）年3月31日までに授与される見込みのある者
   （3）日本国内において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者又は令和9（2027）年3月31日までに授与される見込みのある者
   （4）国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者又は令和9（2027）年3月31日までに学位を授与される見込みのある者
   （5）外国の学校、（3）の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
   （6）文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
   （7）本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時に24歳に達するもの

［注意事項］

1. 上記出願資格2（2）、（4）、（5）又は（7）で出願しようとする者については、あらかじめ出願資格の認定審査を行いますので、出願照会期間内に本学アドミッションセンターに「出願資格審査申請書」と併せ、

入学志願票、成績証明書、修了証明書（外国の大学を卒業した場合は、取得学位（修士）が記載されているもの）のコピーを郵送にて提出してください。

出願照会期間　令和 8（2026）年 11 月 25 日（水）～ 11 月 27 日（金）

本申請書は、本学入試情報ホームページよりダウンロードすることができます。

https://www.univ.gakushuin.ac.jp/admissions/qualification/

2. 上記の有資格者で、現在就業中の者が入学後に職業を継続することは、学業に差支えない限り、これを妨げません。

3 合否判定の方法及び基準

筆記試験、口述試験及び出身校の学業成績により総合的に合否判定を行います。

4 学力検査等の内容

筆記試験　2 月 20 日（土）－西 2 号館で実施

口述試験　2 月 20 日（土）又は 21 日（日）－西 2 号館、北 2 号館、北 1 号館で実施

2 月 20 日（土）に口述試験が終了した場合、2 月 21 日（日）の口述試験はありません。

口述試験の日時は、受験票発送時にお知らせします。遠距離受験等の事情には配慮します。

<table>
<tr><th>月　日
専　攻</th><th colspan="4">2 月 20 日（土）</th><th>2 月 21 日（日）</th></tr>
<tr><td rowspan="2">哲　学　専　攻</td><td>9：00～10：00</td><td>10：20～12：20</td><td>13：10～14：10</td><td>15：00～</td><td>10：00～</td></tr>
<tr><td>哲学史及び思想史</td><td>外国語原書読解（注 1）
英・独・仏・古典ギリシア語・古典ラテン語・漢文・（日）のうちから 2 科目</td><td>論　　文</td><td>口 述 試 験</td><td>口 述 試 験</td></tr>
<tr><td rowspan="2">美術史学専攻</td><td>9：00 ～ 10：00</td><td>10：20～11：50</td><td>13：10～14：10</td><td>15：00～</td><td>10：00～</td></tr>
<tr><td>美術史</td><td>外国語原書読解（注 1）
英語（60 分）及び独・仏・伊・漢文・（日）のうちから 1 科目（30 分）</td><td>論　　文</td><td>口 述 試 験</td><td>口 述 試 験</td></tr>
<tr><td rowspan="2">史　学　専　攻</td><td>9：00～10：00</td><td>10：20～12：20</td><td colspan="2">14：00～</td><td></td></tr>
<tr><td>外国語原書読解
英・独・仏・中・（日）のうちから 1 言語</td><td>論文（歴史学に関する）</td><td colspan="2">口 述 試 験</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">日　本　語
日本文学専攻</td><td>9：00～10：00</td><td>10：20～12：20</td><td colspan="2">13：10～</td><td></td></tr>
<tr><td>外国語（注 4）
英・独・仏・中・（日）のうちから 1 言語</td><td>日本語学・日本文学</td><td colspan="2">口 述 試 験</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">英　語　英　米
文　学　専　攻</td><td>9：00～10：00</td><td>10：20～11：50</td><td colspan="2">13：00～</td><td></td></tr>
<tr><td>英語</td><td>論文（注 5）</td><td colspan="2">口 述 試 験</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">ドイツ語ドイツ
文　学　専　攻</td><td>9：00 ～ 10：00</td><td>10：20 ～ 12：20</td><td colspan="2">14：00～</td><td></td></tr>
<tr><td>外国語（注 4）
英・仏のうちから 1 言語</td><td>ドイツ語及び専門知識</td><td colspan="2">口 述 試 験</td><td></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>月　日
専　攻</td><td colspan="3">2月20日（土）</td><td>2月21日（日）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">フランス文学専攻</td><td>9：00 ～ 10：00</td><td>10：20 ～ 12：20</td><td>13：10 ～</td><td></td></tr>
<tr><td>外国語（注4）
英・独のうちから1言語</td><td>仏文学・仏語学・仏文読解</td><td>口　述　試　験</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">心理学専攻</td><td>9：00 ～ 10：00</td><td>10：20 ～ 12：20</td><td>13：30 ～</td><td></td></tr>
<tr><td>心理学</td><td>英語原書読解</td><td>口　述　試　験</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">臨床心理学専攻</td><td>9：00～10：00</td><td>10：20 ～ 12：20</td><td>15：00～</td><td></td></tr>
<tr><td>臨床心理学</td><td>英語原書読解</td><td>口　述　試　験</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">教育学専攻</td><td>9：00～10：00</td><td>10：20 ～ 12：20</td><td>14：00～</td><td></td></tr>
<tr><td>外国語原書読解（注2）
英・（日）のうちから1言語</td><td>論文</td><td>口　述　試　験</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">アーカイブズ学専攻</td><td>9：00 ～ 10：00</td><td>10：20 ～ 12：20</td><td></td><td>10：00 ～</td></tr>
<tr><td>外国語原書読解
英・（日）のうちから1言語</td><td>アーカイブズ学に関する専門知識・論文</td><td></td><td>口　述　試　験</td></tr>
<tr><td rowspan="2">身体表象文化学専攻</td><td>9：00 ～ 10：00</td><td>10：20 ～ 12：20</td><td></td><td>10：00 ～</td></tr>
<tr><td>外国語（注4）
英・独・仏のうちから1言語</td><td>選択した領域に関する論文（注6）</td><td></td><td>口　述　試　験</td></tr>
</table>

※外国人受験生（外国籍を有し、外国所在の外国の高等学校を卒業又は修了した者）の外国語原書読解・外国語試験について

●外国人受験生（日本語を母語としない者）は、外国語原書読解･外国語試験として、母語を選ぶことはできません。

●哲学専攻・美術史学専攻・史学専攻・日本語日本文学専攻・教育学専攻・アーカイブズ学専攻を志望する外国人受験生は、外国語原書読解・外国語試験として日本語を選ぶことができます。

注1. 哲学専攻の外国語原書読解については、選択した2科目の辞書をそれぞれ1冊、また美術史学専攻の外国語原書読解については､英語及び選択した1科目の辞書をそれぞれ1冊､持ち込むことができます（電子辞書は不可）。なお、辞書の貸与は一切しません。

2. 学校教育法の定める学校で教職経験等が通算3年以上、又は児童福祉法に定める児童福祉に関わる保育士等の業務経験が通算3年以上（いずれも非常勤を含む、通算可）の者は、辞書を持ち込むことができます。（電子辞書、携帯電話は不可）。なお、辞書の貸与は一切しません。この条件で辞書持ち込みを希望する者は、出願時に履歴書（所定の書式）を添付して資格の判定を申請してください。

3. 上記1. の哲学専攻･美術史学専攻の外国語原書読解以外の全ての科目については､辞書の使用を認めません。ただし、上記2. において辞書の持ち込みを許可された場合は、辞書の使用を認めます。

4. ドイツ語、フランス語の試験は、それぞれドイツ語技能検定試験3級、実用フランス語技能検定試験3級程度の知識を前提とします。

5. i 英語圏の文学・文化、ii 英語学の2分野からｌつを選択します。

6. 選択する領域は､i 舞台芸術､ii 映像芸術､iii マンガ･アニメーション芸術､iv ジェンダー表象のいずれか1つとします。

［受験上の注意］

1. 試験当日は、必ず受験票を持参してください。
2. 受験票を紛失した場合には、試験開始10分前までに試験本部に申し出てください。
3. 試験開始後20分を経過した場合には入室を認めません。
4. 公共交通機関の遅延により間に合わなかった場合には、該当の公共交通機関の発行した遅延証明書を

持って試験本部に申し出てください。

5. 試験時間中、机の上に置けるものは、鉛筆・シャープペンシル・ボールペン（いずれも黒又は青のみ）・消しゴム・時計・受験票のみです。携帯電話・スマートフォン・スマートウォッチ・スマートグラス等の通信機器を時計として使用することは禁止します。
6. 携帯電話・スマートフォン・スマートウォッチ・スマートグラス等の通信機器は、試験室に入る前に電源を切っておくとともに、アラーム機能を解除しておいてください。携帯電話・時計等の電子機器が鳴動した場合には、監督者が受験者本人の了承を得ずに該当物（鞄等に入っている場合は鞄ごと）を試験室外に持ち出し、試験本部で試験終了まで保管します。
7. 試験室内での撮影・録画・録音を禁止します。
8. 試験科目のいずれかひとつでも欠席した場合は、不合格となります。

5 出願手続

1. 出願期間　令和 9（2027）年 1 月 12 日（火）～ 1 月 14 日（木）
2. 出願方法

出願者は、次の書類（1）～（10）を一括して、本学アドミッションセンターに提出してください。

※本研究科博士前期課程修了者及び修了見込者は、出願時に（6）の書類を必要としません。

郵送の場合は、簡易書留（かつ速達扱い）で本学アドミッションセンター宛に送付してください。（出願期間最終日必着）

窓口提出の場合は、出願期間内にアドミッションセンター窓口まで持参してください。※窓口受付時間外の提出不可。一度提出した書類は原則として返還しません。

①出願書類は、各自用意した封筒（角形 2 号）の中に入れ、封筒の表面に所定の出願封筒貼付用紙を貼付して提出してください。

②論文（修士論文）は、試験終了後返送しますので、返送先の住所氏名を明記した封筒に入れて①に同封してください。

③②が各自用意した封筒（角形 2 号）に入りきらない場合は、①と②を大きな封筒に入れて提出してください。

(1) 入学志願票（本学所定の用紙。身体表象文化学専攻については専攻所定の用紙、A4 サイズ）

※入学志願票に記入する「希望する指導教員名」については、25 頁以降の「人文科学研究科の概要」等を参照してください。

(2) 写真票（本学所定の用紙、A4 サイズ）

※写真 1 枚（3 か月以内に撮影したもので、アプリ等で画像（顔等）を加工しておらず、受験時に本人と確認できるもの。縦 4cm ×横 3cm。写真票に貼付してください）

(3) 成績証明書（学部）1 通

※和文又は英文以外の場合は、和訳又は英訳し、翻訳された内容が原本と相違ないことの証明を大使館等で受けて提出してください（原本も必ず提出してください）。

※中国の大学（大学院）を卒業（修了）した方は別紙「中国の大学（大学院）を卒業（修了）した者の提出書類」を参照のうえ、書類を提出してください。

(4) 成績証明書（大学院）1 通

※和文又は英文以外の場合は、和訳又は英訳し、翻訳された内容が原本と相違ないことの証明を大使館等で受けて提出してください（原本も必ず提出してください）。

※中国の大学（大学院）を卒業（修了）した方は別紙「中国の大学（大学院）を卒業（修了）した者の提出書類」を参照のうえ、書類を提出してください。

(5) 入学後の研究計画書（本学所定の用紙、A4 サイズ、HP よりダウンロード）

(6) 修了証明書又は修了見込証明書

※外国の大学を卒業した場合は、取得学位（修士）が記載されているものを提出してください。

※和文又は英文以外の場合は、和訳又は英訳し、翻訳された内容が原本と相違ないことの証明を大使館等で受けて提出してください（原本も必ず提出してください)。

※中国の大学（大学院）を卒業（修了）した方は別紙「中国の大学（大学院）を卒業（修了）した者の提出書類」を参照のうえ、書類を提出してください。

(7) 外国人志願者の場合は①在留カード（表面のみ）又は②パスポートのいずれかのコピー

(8) 提出書類記載の氏名が婚姻等により現在の氏名と異なる場合は、同一人物であることを証明する公的書類（戸籍抄本等）

(9) 入学検定料振込金受取書（提出用）

※入学検定料振込依頼票の依頼人欄のコードには『30』と記入してください。

(10) 論文（修士論文）〔本人宛名明記の封筒に入れてください（切手の貼付不要)。口述試験後返却します。〕
論文（修士論文又はそれに相当する論文）又はその写し 1 部を提出してください。

※本学博士前期課程修了見込者で、すでに修士論文を提出した者は、改めて修士論文を提出する必要はありません。ただし､本学博士前期課程修了見込者であっても在籍する専攻（博士前期）と異なる専攻（博士後期）に出願する場合には、論文を提出する必要があります。なお、本学博士前期課程修了者は在籍した専攻と同じ専攻、異なる専攻のいずれに出願する場合も、上記の定めに従って論文（修士論文又はそれに代わる論文）を提出する必要があります。

※論文は、日本語又は英語で書かれたものを提出してください。

奨学金・研究費

学習院大学大学院博士後期課程給付奨学金について

大学院博士後期課程に在学する大学院生を対象として、納付金負担を軽減し若手研究者の研究活動を奨励することを目的に、給付奨学金を新設しました。申請により、授業料の 3 分の 1 相当額を奨学金として給付します。

人文科学研究科特別研究費について

人文科学研究科に在籍する大学院生の研究を支援するため、博士前期課程においては 5 万円、博士後期課程においては 20 万円を申請者全員に研究費として給付しています。

志願票記入例

（西暦） 2027 年度　学習院大学大学院　人文科学研究科入学志願票

◎外国籍の方で、氏名の漢字表記がない場合、記入不要です。アルファベット表記は在留カード及びパスポートの綴りと同一にしてください。カナ氏名は自国での読み方にできるだけ近い表記にしてください。ただし、特別永住者については、この適用の対象外とします。

課程（○で囲んでください）	博士前期課程 ・ 博士後期課程		本学学生は学籍番号を記入してください	留学生のみ（○で囲んでください）	
			— —	1. 国費留学生 2. 私費留学生 3. その他	
出願者氏名	姓	名	志望する専攻		
カナ表記	ガクシュウイン	タロウ	史学 専攻		
漢字表記	学習院	太郎			
アルファベット表記	GAKUSHUIN	TARO			
メールアドレス	フリガナ キュウキュウキュウアットジーエーケーユーエスエイチユーアイエヌドットエーシードットジェイピー 9999@gakushuin.ac.jp ・英数字にはカタカナでフリガナを記入してください。また、丁寧に読みやすく記入してください。（間違えやすい文字の例. 0（ゼロ）とo（オー）、1（イチ）とl（エル）、7（ナナ）と1（イチ））		生年月日	（西暦） 2003 年 10 月 5 日 生	（○で囲んでください） 男 ・ 女

現住所	〒 ○○ （都・道・府・県） ○○ （市・区・町・村） ○○○○○○○○ 電話（ 080 ） 9999 — 9999			
郵便物受け取り場所（現住所と異なる場合のみ記入）	〒 171-8588 東京都 豊島区 目白 1－5－1 電話（ 03 ） 5992 — 1083	国籍	（日本国籍以外の人） 中国	日本国外の銀行から外国送金（該当する場合○を記入してください）

入学後の研究テーマ又は論文題名（予定）	希望する指導教員名
○○○○○○○○	目白 花子 先生

出願資格 卒業 修了（見込）	（西暦） 2005 年 6 月	大学 ・ 大学院	国立・公立・私立 外国・その他（○で囲んでください）	○○大学
		学部・学科 研究科・専攻		○○学部○○学科

受験時選択科目		
	外国語／外国語原書読解（哲学専攻は2科目，その他の専攻は1科目記入）	専攻別試験科目（○で囲んでください）
	英語	〔史学専攻博士前期課程〕 ●日本史 ●東洋史 ●西洋史 〔英語英米文学専攻〕 ●英語圏の文学・文化 ●英語学

◎外国人留学生の場合、学歴欄には在籍中の日本語学校等についても明記してください。

学歴	（西暦）2021 年 6 月	○○○○高級中学 高等学校卒業
	2021 年 9 月	○○大学 入学
	2025 年 6 月	○○大学 卒業
	年 月	
	年 月	
職歴	（西暦）年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	

志望理由
（あなたが本専攻への進学を考えるにいたった理由を説明してください。）
○○○○○○○○

【人文科学研究科の概要】

各専攻の専任教員及び講義題目はいずれも令和８（2026）年度のものであり、令和９（2027）年度には変更の可能性があります。

学習院大学大学院人文科学研究科の概要

本大学院人文科学研究科は、優秀な研究者、教育者及び高度の専門的知識を持った職業人たるべき人材の育成につとめ、本学設立の目的使命の達成をめざしています。

1．本大学院人文科学研究科の組織・入学定員・修業年限

a　博士前期課程（修業年限２年）

専攻課程及び入学定員は次のとおりです。

研究科	専攻	入学定員
人文科学研究科	哲学専攻	10名
	美術史学専攻	10名
	史学専攻	15名
	日本語日本文学専攻	20名
	英語英米文学専攻	10名
	ドイツ語ドイツ文学専攻	5名
	フランス文学専攻	5名
	心理学専攻	6名
	臨床心理学専攻	12名
	教育学専攻	20名
	アーカイブズ学専攻	15名
	身体表象文化学専攻	10名

b　博士後期課程（修業年限３年）

専攻課程及び入学定員は次のとおりです。

研究科	専攻	入学定員
人文科学研究科	哲学専攻	3名
	美術史学専攻	3名
	史学専攻	3名
	日本語日本文学専攻	3名
	英語英米文学専攻	3名
	ドイツ語ドイツ文学専攻	2名
	フランス文学専攻	2名
	心理学専攻	2名
	臨床心理学専攻	3名
	教育学専攻	5名
	アーカイブズ学専攻	3名
	身体表象文化学専攻	3名

Ⅰ　哲学専攻

1．専任教員及び研究分野

氏　名	職　名	専門分野・研究主題	研究の特徴・重点など
小　島　和　男	教　授	ギリシア哲学（特にプラトン研究）	テクストの読解に重点をおいています。また、内容に加えて、その哲学者がどうしてそれを書いたのか、書くということと哲学することのつながりについて意識しながら研究しているのが特徴だと言えます。また、最新の研究情報の収集及び人的交流のため、各種学会活動を積極的に行っております。
澤　田　和　範	准教授	近現代英米哲学（特にヒューム哲学）	思想史的背景を考慮しつつ原典の厳密な解釈を与える。 と同時に、現代の分析的な議論を用いて批判的な吟味と評価を行う。
陶　久　明　日　香	教　授	西洋近現代哲学（特にハイデッガー哲学とその影響について）	原典の緻密な読解を通じて哲学的言説の中に隠されている可能性を探り出し、再構築する。またその有意義性を時代背景や現代の諸問題などを考慮に入れて検討する。
杉　山　直　樹	教　授	西洋近現代哲学（特にベルクソン哲学）	ベルクソンを中心としつつも、それに先立つフランス哲学や、同時代の科学論を視野に収めながら研究を続けています。ある哲学者の内在的理解と哲学史的研究、ともに重要だと思っています。
松　波　直　弘	教　授	日本思想史（特に鎌倉仏教思想）	宗教や宗派としての問題や、勢力展開の時代性など、テキスト成立に関わる文脈と、テキストそれ自体が持つ言葉の文脈とを読み解く。

2．2026 年度講義題目及び担当者

授業科目（講義題目）	副　題	単位	開講期間	担当者	備　考
哲学演習	西洋古代哲学原典研究	4	通年	小　島　和　男　教　授	
哲学演習	『人間本性論』第三巻の精読	4	通年	澤　田　和　範　准教授	
哲学演習	メルロ＝ポンティ『眼と精神』を読む	4	通年	杉　山　直　樹　教　授	
哲学演習	アーレント『活動的生』を読む	4	通年	橋　爪　大　輝　講　師	
◆哲学演習	実存主義の道徳論――ボーヴォワール『両義性の道徳のために』	4	通年	杉　山　直　樹　教　授	
◆哲学演習	Sein und Zeit を読む	4	通年	串　田　純　一　講　師	
◆哲学演習		4	通年	板　橋　勇　仁　講　師	
◆哲学演習	アリストテレス『エウデモス倫理学』を読む	2	第 2 学期	佐良土　茂　樹　講　師	
◆哲学演習	アリストテレス『詩学』を読む	2	第 2 学期	小　川　文　子　講　師	
思想史演習	天台思想研究	4	通年	松　波　直　弘　教　授	
◆思想史演習	ヒュームの美的判断論	4	通年	澤　田　和　範　准教授	
◆思想史演習	複数文献横断読解による日本思想史研究	4	通年	松　波　直　弘　教　授	
◆思想史演習	アマテラスの祭祀を読む ―古代中世の神道思想―	4	通年	小　平　美　香　講　師	
◆哲学特殊研究	生物学はなぜ哲学の問題になるのか	4	通年	澤　田　和　範　准教授	
◆哲学特殊研究	哲学的人間学の諸問題	4	通年	下　田　和　宣　講　師	
◆哲学特殊研究	芸術哲学を読む	2	第 2 学期	小　川　文　子　講　師	
◆思想史特殊研究	論証で辿るフランス哲学史（モンテーニュからメルロ＝ポンティまで）	4	通年	國　領　佳　樹　講　師	
◆思想史特殊研究	〈門下〉たちと、その思想史	4	通年	松　波　直　弘　教　授	
修士論文指導（哲学専攻）		2	集中（通年）		
博士論文指導（哲学専攻）		2	集中（通年）		

◆印は大学院授業科目であるが、学部生が履修する場合もある。

Ⅱ　美術史学専攻

1．専任教員及び研究分野

氏　名	職　名	専門分野・研究主題	研究の特徴・重点など
荒　川　正　明	教　授	日本美術史・工芸史	陶磁器を中心に、その造形を他の素材の作品との比較を通じて考察する。うつわが使われる場にも注目している。
京　谷　啓　徳	教　授	西洋美術史・芸術学	ルネサンス君主の宮廷美術を中心に、初期近世イタリア美術を研究する。美術と演劇・芸能の接点にも関心がある。
近　藤　　壮	教　授	日本美術史（近世･近代絵画史）	近世・近代の絵画を中心に、視覚イメージの分析から作品が生み出された背景、その意味と機能について考察します。
皿　井　　舞	教　授	日本美術史 (特に彫刻を中心とする仏教美術)	古代･中世の仏像を中心に､作品を生み出す主体である､注文主､仏師、僧侶などの関わりに注目をしながら研究をしています。
吉　田　紀　子	教　授	西洋近代美術史・デザイン史	芸術家、作品、周辺環境（批評や政策）が複合的に紡ぎだす美術史の広がりに注意を向け、西洋近代の美術及びデザインに対して社会文化史的視点からアプローチする。

2．2026 年度講義題目及び担当者

授業科目（講義題目）	副　題	単位	開講期間	担 当 者	備　考
日本東洋美術史演習	日本東洋美術史研究の方法	4	通年	近　藤　　壮　教　授	
日本東洋美術史演習	日本美術史研究の方法論	4	通年	皿　井　　舞　教　授	
◆日本東洋美術史演習	工芸研究へのアプローチ	4	通年	荒　川　正　明　教　授	
西洋美術史演習		4	通年	京　谷　啓　徳　教　授	
西洋美術史演習		4	通年	吉　田　紀　子　教　授	
◆芸術学演習	絵巻演習	4	通年	上　野　友　愛　講　師	
◆日本東洋美術史特殊研究	日本陶磁史研究	4	通年	荒　川　正　明　教　授	
◆日本東洋美術史特殊研究	日本近世絵画史論	4	通年	近　藤　　壮　教　授	
◆西洋美術史特殊研究	世紀転換期芸術の連環 ――フランスのアール・デコ	4	通年	吉　田　紀　子　教　授	
◆西洋美術史特殊研究	18 世紀～ 20 世紀初頭のスペイン美術	4	通年	川　瀬　佑　介　講　師	
◆西洋美術史特殊研究	都市と美術－ローマ・ヴェネツィア	4	通年	京　谷　啓　徳　教　授	
美術館学特殊研究（大学院）		4	通年	荒　川　正　明　教　授 賀　川　恭　子　講　師	第 1 学期 第 2 学期
修士論文指導(美術史学専攻)		2	集中(通年)		
博士論文指導(美術史学専攻)		2	集中(通年)		

◆印は大学院科目であるが、学部生が履修する場合もある。

Ⅲ　史学専攻

1．専任教員及び研究分野

氏　名	職　名	専門分野・研究主題	研究の特徴・重点など
家永遵嗣	教　授	日本中世史	日本中世史､特に室町から戦国期にかけての政治史｡将軍権力のありかたを､訴訟の手続きや軍事力の行使などの諸面を通じて精力的に追求する。
鐘江宏之	教　授	日本古代史	日本古代史、特に律令政治の背景にある社会・文化、地方行政と地方社会、文書行政のあり方、出土文字資料の史料学的研究などに幅広く取り組んでいる。
亀長洋子	教　授	西洋中世史	西洋中世史、特に中世盛期からルネサンス期までのイタリアや地中海世界を対象に都市社会史や商業活動に関わるテーマを幅広く扱っている。
工藤晶人	教　授	西洋近代史	フランスとマグリブの関係を専門として、地中海の歴史について考えている。通訳者、旅行者、改革者などに着目して、人々の交流を長い時間のなかでとらえなおすことを試みている。
佐藤雄介	教　授	日本近世史	日本近世史。特に、幕政史・財政史・朝幕関係（＝天皇・朝廷と幕府の関係）を研究。それらをリンクさせながら江戸時代の政治を描く。
志内一興	教　授	西洋古代史	西洋古代史、なかでもローマ帝国史を専門にしている。広大な帝国統治におけるコミュニケーション、帝国各地における言語をめぐる諸問題など、ローマ帝国内の政治や文化の複雑で多様な諸側面について、文献や碑文等の史資料を用いながら幅広く考察している。
海老根量介	准教授	中国古代史	東洋古代史、特に戦国時代から秦漢時代の中国が専門。出土文字史料を活用し、当時の人々の生活や文化に光をあてた研究を行っている。
千葉　功（兼任）	教　授	日本近代史	日本近代史、特に明治期の政治外交史。日露戦争期の日本外交研究から出発し、対象を推移させて大久保政権～帝国憲法発布期の研究を試みている。
武内房司◎（兼任）	教　授	中国近代史	東洋近代史、特に近代華南・東南アジア世界を人の移動や宗教の伝播に注目しながら幅広く研究。

※兼任教員も指導教授とすることができる。
※◎の付してある教員は、2027 年 3 月退職予定。

2．2026 年度講義題目及び担当者

授業科目（講義題目）	副　題	単位	開講期間	担当者	備　考
日本史演習	『園太暦』講読	4	通年	家永遵嗣教授	
日本史演習	『日本三代実録』講読	4	通年	鐘江宏之教授	
日本史演習	日本近現代史の諸問題	4	通年	吉井文美講師	
日本史演習	日本近世史研究の課題と論点をめぐって	4	通年	佐藤雄介教授	
東洋史演習	清代日記研究	4	通年	武内房司教授	
東洋史演習	張家山漢簡（336 号墓）『功令』を読む	4	通年	海老根量介准教授	
西洋史演習	西洋中世史史料研究	4	通年	亀長洋子教授	
西洋史演習	比較史とグローバルヒストリー	4	通年	工藤晶人教授	
西洋史演習	ラテン語史料講読	4	通年	志内一興教授	
◆日本史特殊研究	中世前期古記録講読	4	通年	本郷恵子講師	
◆日本史特殊研究	日本古代の宮都の遺跡と出土文字資料	4	通年	鐘江宏之教授	
◆日本史特殊研究	華族の史料を読む	4	通年	松田好史講師	
◆日本史特殊研究	日本近世史研究の方法	4	通年	岩淵令治講師	
◆東洋史特殊研究	『資治通鑑』を読む	4	通年	海老根量介准教授･武内房司教授	
◆東洋史特殊研究	中国民衆宗教の史料に触れる	2	第1学期	小武海櫻子講師	
◆東洋史特殊研究	親族秩序からみる中国史	2	第2学期	板橋暁子講師	
◆西洋史特殊研究	感情史とは何か	4	第1学期	森田直子講師	
◆西洋史特殊研究	西洋における決闘文化		第2学期	森田直子講師	
◆古文書学文献学研究	室町時代の日記と紙背文書を読む	4	通年	末柄豊講師	
史学理論史学史研究		4	通年	北村暁夫講師	
修士論文指導(史学専攻)		2	集中（通年）	鐘江宏之教授	
博士論文指導(史学専攻)		2	集中（通年）	鐘江宏之教授	

◆印は大学院授業科目であるが、学部生が履修する場合もある。

Ⅳ　日本語日本文学専攻

1．専任教員及び研究分野

氏　名	職　名	専門分野・研究主題	研究の特徴・重点など
安部清哉	教　授	日本語学・方言学	日本語の語彙（言葉の意味と構造）と資料の研究、及び、方言学・方言の歴史
大原祐治	教　授	日本近現代文学	・1930 年代以降の文学と出版メディアに関する研究 ・文学における戦争の記憶と表象に関する研究
海老原志穂	准教授	言語学	フィールドワークにもとづく、個別言語の音韻・文法・語彙の記述
勝又　隆	教　授	日本語学・日本語文法史	上代・中古を中心とした日本語の史的研究。古代語の文法体系の記述と史的変遷の研究。
金田智子	教　授	日本語教育学、授業分析	・日本語教育の内容と方法に関する研究 ・日本語教師の養成・研修、教師の成長
鈴木健一	教　授	日本近世文学	・江戸時代の文学表現を分析する ・古典享受の様相を分析する ・詩歌表現の特質について分析する
千野裕子	准教授	平安時代の文学、物語文学	平安文学後期を中心とした、物語文学における影響関係と個々の作品の独自性の分析
中上亜樹	准教授	日本語教育学、第二言語習得論	第二言語習得論に基づく外国語教授法 インプット理解のメカニズム
中嶋真也	教　授	日本上代文学	・上代文学作品の精読 ・上代文学作品の享受研究
中野貴文	教　授	日本中世文学	中世以前からの影響、中世以降の享受等を含め、中世文学の史的動態を分析する。
中山昭彦	教　授	近現代文学	1890 年代～ 1930 年代の文学・美術・国語政策・メディアの重層的関係の研究 戦後から現在までの反＝表象的な現代文学研究
前田直子	教　授	現代日本語学	・現代日本語文法、とくに複文の記述的研究 ・日本語教育における文法研究

2．2026 年度講義題目及び担当者

授業科目（講義題目）	副　題	単位	開講期間	担当者	備　考
◆日本語学特殊研究	言語の記述と研究	4	通年	海老原志穂　准教授	
◆日本語学特殊研究	多文化共生社会のためのコミュニケーションについて考える	2	第１学期	島田徳子　講師	
◆日本語学特殊研究		2	第２学期	松崎　寛　講師	
◆日本語史特殊研究		4	通年	小野正弘　講師	
◆日本文学特殊研究		4	通年	吉丸雄哉　講師	
◆日本文学特殊研究	文学研究と歴史 / 記録	4	通年	大原祐治　教授	
◆日本文学特殊研究	『紫式部集』を読む		通年	桜井宏徳　講師	
◆日本文学特殊研究	『宇治拾遺物語』購読	4	通年	蔦尾和弘　講師	
◆日本文学史特殊研究	日本古典籍の歴史と書誌学	4	通年	海野圭介　講師	
◆日本語学演習	古代日本語研究の方法と実践	4	通年	勝又　隆　教授	
◆日本語学演習	改善のための授業分析、研究のための授業分析	4	通年	金田智子　教授	
◆日本語学演習	現代日本語の複文研究	4	通年	前田直子　教授	
◆日本語学演習	指導場面における第二言語習得（ISLA）	4	通年	中上亜樹　准教授	
◆日本文学演習	『万葉集』巻第二を読む	4	通年	中嶋真也　教授	
◆日本文学演習	平清盛を読む	4	通年	中野貴文　教授	
◆日本文学演習	江戸時代の女性の紀行文を読む	4	通年	鈴木健一　教授	
◆日本文学演習	文学と文化の間	4	通年	中山昭彦　教授	
◆日本文学演習	『狭衣物語』の享受を考える	4	通年	千野裕子　准教授	
◆日本文学演習		4	通年	瀬間正之　講師	
修士論文指導（日本語日本文学専攻）		2	集中（通年）	前田直子　教授	
修士論文（日本語日本文学専攻）		0	集中（通年）	前田直子　教授	
博士論文指導（日本語日本文学専攻）		2	集中（通年）	前田直子　教授	

◆印は大学院授業科目であるが、学部生が履修する場合もある。

V　英語英米文学専攻

1．専任教員及び研究分野

氏　名	職　名	専門分野・研究主題	研究の特徴・重点など
新　井　景　子	教　授	アメリカ文学	19 世紀半ばから 20 世紀初頭のアメリカ小説における女性像
Louise Ohashi	教　授	応用言語学、英語教育学	Second language acquisition, CALL/MALL, learner autonomy, learner motivation, and multilingualism.
桐　山　大　介	准教授	アメリカ文学・アメリカ文化	ウィリアム・フォークナーやラルフ・エリソンら、20 世紀前半から中盤のアメリカ作家を中心に研究。
今　野　弘　章	教　授	英語学、言語学、語用論	日英語の周辺的現象、統語論と語用論のインターフェイス、言語と類像性と有標性
田　辺　千　景	教　授	19 世紀米文学	アメリカ家庭／感傷小説の系譜、及び Henry James, Edith Wharton など
中　野　春　夫 （　兼　任　）	教　授	ルネサンス期英文学・劇	ルネサンス期及び近代初期のイギリス演劇とその文化的・社会的背景
平　田　一　郎	教　授	語用論、意味論、理論言語学	文法理論、会話英語の語用論的分析など
Andrew Fitzsimons	教　授	アイルランド文学	Joyce, Beckett, Yeats. Twentieth Century Poetry. Contemporary Irish poetry; Kinsella, Heaney, Muldoon etc. Film Studies.
福　田　純　也	准教授	心理言語学・第二言語習得研究	実験心理学的アプローチによる言語の学習・処理メカニズムの解明
眞　野　　泰	教　授	英小説	特に現代イギリスの小説と文化
吉　野　由　利	教　授	18・19 世紀イギリスとアイルランドの文学	ロマン派期の小説（特に national tale）。児童文学。

※兼任教員も指導教授とすることができる。

2．2026 年度講義題目及び担当者

授業科目（講義題目）	副　題	単位	開講期間	担 当 者	備　考
◆英米語学特殊研究	英語の文法化の理論的及び実証的考察	4	通年	保　坂　道　雄　講　師	
作家作品特殊研究	現代英国の短篇精読	4	通年	眞　野　　泰　教　授	
英米語学演習		4	通年	平　田　一　郎　教　授	
英米語学演習		4	通年	今　野　弘　章　教　授	
英米語学演習		4	通年	L. 大　　橋　教　授	
◆英米語学演習		4	通年	福　田　純　也　准教授	
英米文学演習	シェイクスピア劇講読	4	通年	中　野　春　夫　教　授	
◆英米文学演習	世紀転換期のアメリカ小説を読む	4	通年	新　井　景　子　教　授	
英米文学演習	Irish Literature in Japan	4	通年	A. Fitzsimons　教　授	
◆英米文学演習	アメリカ文学と語りの技巧	4	通年	田　辺　千　景　教　授	
◆英米文学演習	ヴィクトリア朝の文学と文化	4	通年	吉　野　由　利　教　授	
◆英米文学演習		4	通年	中　野　学　而　講　師	
英米文学演習	現代アメリカ文学短篇講読	4	通年	今　井　亮　一　講　師	
博士論文指導		2	集中(通年)	平　田　一　郎　教　授	

◆印は大学院授業科目であるが、学部生が履修する場合もある。

Ⅵ　ドイツ語ドイツ文学専攻

1．専任教員及び研究分野

氏　名	職名	専門分野・研究主題	研究の特徴・重点など
伊　藤　　白	教　授	現代ドイツ文学	「イメージ」とは常に作られたものであるという意識のもと、ドイツ語圏の文学作品（特にトーマス・マンの文学）やドイツ語で書かれたさまざまな言説を題材に、そこに描かれた「他者」（ジェンダー的・宗教的・民族的・政治的・文化的他者等）のイメージを研究しています。また、その他者像の理解を助けるものとして、日独の経済、社会、政治的背景の比較にも取り組んでいます。
犬　飼　彩　乃	准教授	現代ドイツ文学、翻訳論、フィクション論	今世紀の文芸作品を中心に、虚構と事実の混淆について研究しています。近年ではメディアの発達により虚実の境界がますますわかりにくくなり、情報の受け手もリテラシーを求められる場面が増えてきました。虚構の専門家である作家たちの創作のみならず、ドイツ語圏では批判的に見られてきた社会における虚構の濫用や、事実とは何かといった哲学的観点をもあわせみることで、虚構の構造的特徴を考察しています。
小　林　和貴子	教　授	現代ドイツ文学、聴覚芸術、メディア論	オーディオドラマを中心とした聴覚・音響芸術をメディア文化史の観点から研究しています。具体的にはメディアとテクストの関係、メディアによる知覚の変容などの問題を扱っています。また、ある文化における文学的テクストの生成メカニズムにも関心があり、物語、ジャンル、サブカルチャーなどをキーワードに文化研究を行っています。
清　野　智　昭	教　授	ドイツ語学、コーパス言語学、応用言語学	現代ドイツ語の構文とその意味特性について研究しています。特に、有生性が構文に与える特性が関与する構文、具体的には、身体部位への働きかけを表す構文、無生物主語構文、心理動詞構文に興味を持っており、ドイツ語コーパスを使って分析しています。また、効果的な外国語（特にドイツ語）の学習法と教授法にも関心を持っています。
田　中　雅　敏	教　授	ドイツ語学、理論言語学、社会言語学	ドイツ語の文法理論、とりわけドイツ語（ゲルマン語）の枠構造に関連する研究、語順研究などをしています。具体的には、定動詞位置、主文・副文構造、かきまぜ、話題化などです。近年は、形態統語論のテーマ（名詞の複数形の形態、冠詞や形容詞のシグナル語尾）や、キーツドイツ語、若者言葉などのドイツ語の変異（社会言語学）にも取り組んでいます。
田　丸　理　砂（兼任）	教　授	ドイツ語圏文学、ジェンダー論	社会の民主化及び大衆化がジェンダーと表現にどのような影響を与えたかに注目して研究を進めています。具体的には 1920 年代から 1930 年代にかけて世界各地で同時多発的に起きたモダンガール現象と、当時さまざまな芸術分野で活躍した女性アーティスト（文学、写真、建築など）との係わりについて取り組んできました。現在は彼女たちのその後の作品や活動にも研究を広げています。また現代文学にもアンテナを張ろうと心がけています。
トーマス・ペーカー◎	教　授	ドイツ語圏文学、文化論	近代文学、亡命移民文学、文献学、文化学などです。例えば、19 ～ 20 世紀のドイツや欧州において日本文化がどのように受容されていたかや、ナチス時代に欧州からアジアを経由して米国等へ移住した人々がアジア特に日本文化をどのように理解し、その後の作品にどう影響したかという研究です。ブレヒト、ユンガー、ムージル、ニーチェ、カフカなどが対象です。また、最近は現代を対象としたインターカルチュラル研究（文化交流やトランスカルチュラル研究を含む）に取り組んでいます。

※兼任教員も指導教授とすることができる。
※◎の付してある教員は、2027 年 3 月退職予定。

2．2026 年度講義題目及び担当者

授業科目（講義題目）	副　題	単位	開講期間	担当者	備　考
博士論文指導		2	集中(通年)	伊　藤　　白　教　授	
修士論文指導		2	集中(通年)	伊　藤　　白　教　授	
◆ドイツ語学特殊研究（1）		2	第 1 学期	MEYER, Thomas　講　師	
◆ドイツ語学特殊研究（2）		2	第 2 学期	MEYER, Thomas　講　師	
◆ドイツ語学特殊研究（3）	中世ドイツ語学・文学入門	2	第 1 学期	平　井　敏　雄　講　師	
◆ドイツ語学特殊研究（4）	中世ドイツ語学・文学入門	2	第 2 学期	平　井　敏　雄　講　師	
◆ドイツ文学特殊研究（1）	Ingeborg Bachmann	2	第 1 学期	PEKAR, Thomas　教　授	
◆ドイツ文学特殊研究（2）	Ingeborg Bachmann	2	第 2 学期	PEKAR, Thomas　教　授	
ドイツ語学演習（1）	通時的文法研究	2	第 1 学期	田　中　雅　敏　教　授	
ドイツ語学演習（2）	V2 言語における V3	2	第 2 学期	田　中　雅　敏　教　授	
ドイツ語学演習（3）	ドイツ語形態論（1）	2	第 1 学期	保　阪　靖　人　講　師	
ドイツ語学演習（4）	ドイツ語形態論（2）	2	第 2 学期	保　阪　靖　人　講　師	
ドイツ文学演習（1）	Johannes Fried “Die Deutschen”	2	第 1 学期	伊　藤　　白　教　授	
ドイツ文学演習（2）	Johannes Fried “Die Deutschen”	2	第 2 学期	伊　藤　　白　教　授	
ドイツ文学演習（3）	文学研究の実践例に触れる	2	第 1 学期	小　林　和貴子　教　授	
ドイツ文学演習（4）	文学研究の実践例に触れる	2	第 2 学期	小　林　和貴子　教　授	
◆ドイツ文学演習（5）	Christine Lavant の小説を読む	2	第 1 学期	田　丸　理　砂　教　授	
◆ドイツ文学演習（6）	47 年グループの女性作家たち	2	第 2 学期	田　丸　理　砂　教　授	
ドイツ文学演習（7）	人工言語を考える（3）	2	第 1 学期	犬　飼　彩　乃　准　教　授	
ドイツ文学演習（8）	今世紀のエッセイを読む	2	第 2 学期	犬　飼　彩　乃　准　教　授	

◆印は大学院授業科目であるが、学部生が履修する場合もある。

Ⅶ　フランス文学専攻

1．専任教員及び研究分野

氏　名	職名	専門分野・研究主題	研究の特徴・重点など
大　野　麻奈子	教　授	19・20 世紀フランス文学	ヴィクトル・ユゴーとサミュエル・ベケットを中心とした 19・20 世紀の演劇について研究している。
志々見　　剛	教　授	16 世紀フランス文学・思想	モンテーニュを中心としたフランス 16 世紀の文学･思想について、特に同時代の歴史叙述や歴史理論との相互的な関係を軸に研究している。
鈴　木　雅　生	教　授	20 世紀フランス文学	ル・クレジオをはじめ、西欧を相対化する視点を持つ近現代のフランス作家を軸に研究している。
須　藤　健太郎 （兼　任）	准教授	映画批評、フランス映画史	批評と実作が緊密に結びついたヌーヴェル・ヴァーグを中心に、フランス映画史および映画批評史の研究に取り組んでいる。
田　上　竜　也	教　授	20 世紀フランス文学・思想	ポール・ヴァレリーを中心とする近現代作家の研究。身体論や、文学と建築とのかかわりについても考究している。
内　藤　真　奈	准教授	20 世紀フランス文学、写真論、病気表象	エルヴェ・ギベールを中心とした 20 世紀の小説、写真などの視覚的イメージとテクストの関係、及び文学作品における病気表象について研究している。
ティエリ・マレ	教　授	フランス演劇､ルネサンス文学､詩法､翻訳論	話し言葉と書き言葉の相互関係を具体的に分析して、文学的言説の特徴、役割、目的の（仮の）定義をめざす。

2．2026 年度講義題目及び担当者

授業科目（講義題目）	副　題	単位	開講期間	担当者	備　考
フランス語学特殊研究	フランス語の歴史的理解	4	通年	松　村　　剛　講　師	
◆フランス文学特殊研究	フランス文学における非西欧世界	4	通年	鈴　木　雅　生　教　授	
◆フランス語学演習	Production écrite	4	通年	A．ドリブル　講　師	
◆フランス語学演習	日常言語について考える	4	通年	中　尾　和　美　講　師	
◆フランス文学演習	フランス近代文学読解	4	通年	田　上　竜　也　教　授	
フランス文学演習	フランス自伝文学研究	4	通年	内　藤　真　奈　准教授	
◆フランス演劇演習	Tragédies bibliques（Suite）	4	通年	ティエリ・マレ　教　授	
修士論文指導（フランス文学専攻）		2	集中（通年）	鈴　木　雅　生　教　授	
博士論文指導（フランス文学専攻）		2	集中（通年）	鈴　木　雅　生　教　授	

◆印は大学院授業科目であるが、学部生が履修する場合もある。

Ⅷ　心理学専攻

1．専任教員及び研究分野

氏　名	職　名	専門分野・研究主題	研究の特徴・重点など
伊　藤　忠　弘	教　授	社会心理学・教育心理学	自己評価の維持や高揚など「自己」に関連した動機の研究、及び対人関係が達成動機や社会的動機に及ぼす影響に関心を持っている。
今　井　久　登	教　授	認知心理学・実験心理学・認知科学	人間の記憶、特に潜在記憶（無意識の記憶）に興味があり、潜在記憶と意識的な記憶活動との関係や、潜在記憶と知覚や思考など他の認知活動との相互作用についても研究中。
篠ヶ谷　圭　太	教　授	教育心理学	認知心理学にもとづく効果的な指導法や学習法に関する研究を行いながら、教育現場と協働して実践の開発及び効果検証を行っている。
宮　崎　弦　太	教　授	社会心理学	親しい人間関係を構築・維持する中での心理・行動、また、主観的幸福感を規定する社会心理学的要因について、相手との関係性や社会環境の影響という観点から研究を行っている。
山　本　政　人	教　授	発達心理学	乳幼児期の認知、言語、社会性の発達を中心テーマとし、人間の発達を社会的文脈の中でとらえることを目指している。

2．2026 年度講義題目及び担当者

授業科目（講義題目）	副　題	単位	開講期間	担 当 者	備　考
心理学演習 1	プロジェクション・サイエンス	4	通年	今　井　久　登　教　授	
心理学演習 2		4	通年	伊　藤　忠　弘　教　授	
心理学演習 3		4	通年	篠ヶ谷　圭　太　教　授	
心理学演習 4	マルチレベルデータに基づく社会心理学研究	4	通年	宮　崎　弦　太　教　授	
心理学特別研究 3	K 式発達検査を通して発達を理解する	2	第 1 学期	大　山　泰　宏　教　授	注 1）
心理学特別研究 5		2	第 1 学期	風　間　文　明　講　師	注 1）
心理学特殊研究 6	心理統計学の実際を学ぶ	4	通年	宮　崎　弦　太　教　授	
博士論文指導（心理学専攻）		2		伊　藤　忠　弘　教　授	

注 1）博士前期課程の学生が履修する場合、「心理学特殊研究」の単位となる。

Ⅸ　臨床心理学専攻

1．専任教員及び研究分野

氏　名	職　名	専門分野・研究主題	研究の特徴・重点など
大　山　泰　宏	教　授	心理臨床学、心理療法論、臨床心理学の言説研究	心に関する「臨床学」として、関係性と発達の観点から、様々な臨床実践分野での心理療法について研究と指導をおこなっている。
川　嵜　克　哲	教　授	臨床心理学・心理療法における関係性及び技法論	心理療法の実践の中から、心理療法というものの「構造」、クライエント－治療者の「関係性」、その中でやりとりされ浮かび上がってくる「イメージ」「言語」に関心を持っている。
北　山　　純	教　授	臨床心理学、心理療法、高齢者の心理臨床	心理療法におけるクライエントの語りやイメージに着眼し、その治療機序について研究している。「老い」「死」「宗教性」をめぐる心理臨床にも関心を持ち続けている。
藤　巻　る　り	教　授	臨床心理学・心理療法の治療機序・発達障害の体験世界とその心理療法	心理療法がこころの成り立ちやその変容過程にどのように関わっているか、治療機序に関心がある。発達の多様性として発達障害の体験世界やその心理療法過程にも注目している。
吉　川　眞　理	教　授	臨床心理学・心理療法とその習熟過程・心理査定・スクールカウンセリング	心理査定論を中心として心理臨床の質の向上と訓練法に関する研究を行っている。ハンドテストに関する解釈理論及び臨床実践への適用可能性の検討も継続して取り組む。
伊　藤　忠　弘 （兼任※）	教　授	社会心理学・教育心理学	自己評価の維持や高揚など「自己」に関連した動機の研究、及び対人関係が達成動機や社会的動機に及ぼす影響に関心を持っている。
今　井　久　登 （兼任※）	教　授	認知心理学・実験心理学・認知科学	人間の記憶、特に潜在記憶（無意識の記憶）に興味があり、潜在記憶と意識的な記憶活動との関係や、潜在記憶と知覚や思考など他の認知活動との相互作用についても研究中。
篠ヶ谷　圭　太 （兼任※）	教　授	教育心理学	認知心理学にもとづく効果的な指導法や学習法に関する研究を行いながら、教育現場と協働して実践の開発及び効果検証を行っている。
宮　崎　弦　太 （兼任※）	教　授	社会心理学	親しい人間関係を構築・維持する中での心理・行動、また、主観的幸福感を規定する社会心理学的要因について、相手との関係性や社会環境の影響という観点から研究を行っている。
山　本　政　人 （兼任※）	教　授	発達心理学	乳幼児期の認知、言語、社会性の発達を中心テーマとし、人間の発達を社会的文脈の中でとらえることを目指している。

※兼任教員は指導教授として希望することはできない。

2. 2026 年度講義題目及び担当者

授業科目（講義題目）	副　題	単位	開講期間	担当者	備　考
臨床心理学特論		4	通年	藤巻るり教授	
臨床心理面接特論		4	通年	川嵜克哲教授	
臨床心理査定演習Ⅰ （心理的アセスメントに関する理論と実践）		2	第１学期	吉川眞理教授	
臨床心理査定演習Ⅱ		2	第２学期	吉川眞理教授	
心理療法技法論 （心理支援に関する理論と実践）		2	第１学期	大山泰宏教授	
精神医学特論Ⅰ （保健医療分野に関する理論と支援の展開）		2	第１学期	石丸昌彦講師	
精神医学特論Ⅱ		2	第２学期	石丸昌彦講師	
投映法特論	ロールシャッハテストの力動的解釈を中心に	2	第１学期	小嶋嘉子講師	
心の健康教育特論 （心の健康教育に関する理論と実践）		2	第１学期	小林孝雄講師	
精神分析学特論	精神分析をめぐる冒険	2	第２学期	大山泰宏教授	
認知行動療法特論		2	第１学期	金吉晴講師	
障害者（児）心理学特論 （福祉分野に関する理論と支援の展開）		2	第２学期	中島由宇講師	
家族心理学特論 （家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）	個人心理療法の設定外にある心理療法を考える	2	第１学期	青木紀久代講師	
福祉心理支援特論 （福祉分野に関する理論と支援の展開）	児童福祉領域における心理臨床	2	集中(第1学期)	内海新祐講師	
心理学研究法特論１		2	第１学期	綾城初穂講師	
心理学研究法特論２	量的研究を読み解き、自ら研究をデザインしていく人のために	2	第１学期	高橋翠講師	
犯罪心理学特論 （司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開）		2	第１学期	吉村雅世講師	
産業・労働心理支援特論 （産業・労働分野に関する理論と支援の展開）		2	第１学期	馬場洋介講師	
学校臨床心理学特論 （教育分野に関する理論と支援の展開）		2	第２学期	伊藤亜矢子講師	
認知心理学特論１	プロジェクション・サイエンス	4	通年	今井久登教授	
社会心理学特論１	マルチレベルデータに基づく社会心理学研究	4	通年	宮崎弦太教授	
社会心理学特論２		4	通年	伊藤忠弘教授	
教育心理学特論１		4	通年	篠ヶ谷圭太教授	
発達心理学特論２	K 式発達検査を通して発達を理解する	2	第１学期	大山泰宏教授	
臨床心理基礎実習		2	通年	藤巻るり教授 大山泰宏教授 江野肇講師	注 1）注 2）
臨床心理実習Ⅰ （心理実践実習Ⅱ）		1	通年	吉川眞理教授 川嵜克哲教授	
臨床心理実習Ⅱ	インテンシブなスーパーヴィジョンによる事例担当実習	1	集中（通年）	吉川眞理教授 川嵜克哲教授 藤巻るり教授 大山泰宏教授 江野肇講師	
心理実践実習Ⅰ		1	集中（通年）	川嵜克哲教授 藤巻るり教授 吉川眞理教授 大山泰宏教授 江野肇講師	
臨床心理学演習１	心理臨床の深化と研究	2	通年	吉川眞理教授	
臨床心理学演習１		2	通年	川嵜克哲教授	
臨床心理学演習１		2	通年	藤巻るり教授	
臨床心理学演習１		2	通年	大山泰宏教授	
臨床心理学演習２		2	第１学期	金吉晴講師	
臨床心理学演習５		4	通年	川嵜克哲教授 藤巻るり教授 吉川眞理教授 大山泰宏教授	
臨床心理学特別研究２	ロールシャッハテストの力動的解釈を中心に	2	第１学期	小嶋嘉子講師	
臨床心理学特別研究３		2	第１学期	田熊友紀子講師	
臨床心理学特別研究４	児童福祉領域における心理臨床	2	集中(第1学期)	内海新祐講師	

注 1）「臨床心理基礎実習」は重複して履修することはできない。また通年毎週 2 時限設定で 2 単位である。
注 2）「臨床心理実習Ⅰ（心理実践実習Ⅱ）」は重複して履修することはできない。また通年毎週 2 時限設定で 1 単位である。

X　教育学専攻

1．専任教員及び研究分野

氏　名	職名	研究分野・研究主題	研究の特徴・重点など
秋　田　喜代美	教　授	学校教育学、授業研究、カリキュラム研究	学校や園でのこどもと教師の学びと発達過程に関する研究をしている。
飯　沼　慶　一◎	教　授	環境教育、生活科教育、理科教育	自然と子どもとのかかわりに視点をおいた環境教育に取り組んでいる。
伊　藤　亜矢子	教　授	学校臨床心理学	スクールカウンセリング、学級風土アセスメントによるコンサルテーション、など校内での心理支援について研究している。
岩　崎　　淳	教　授	国語教育	学校教育における国語科の学習指導に重点をおいている。
大　矢　幸　久	准教授	社会科教育、地理教育、生活科教育	地理教育を中心に、市民性を育成する社会科・生活科教育の理論的・実践的研究に取り組んでいます。
小　原　　豊	教　授	算数・数学教育、情報教育	数学教育を中心として、STEM 教材開発や事例研究に取り組みつつその特性を解明している。
黒　川　雅　子	教　授	教育法規、教育制度、生徒指導	学校観の変容を踏まえ、学校教育の在り方について、スクール・コンプライアンスの視点から研究している。
小　国　喜　弘	教　授	インクルーシブ教育、社会科教育	誰もが当たり前の権利として共に生き共に学ぶ、インクルーシブ教育の日本での実現に向けて、理論・実践について研究している。同時に、社会科教育の実践史に焦点を当てた研究も展開している。
笹　野　恵理子	教　授	音楽教育、学校音楽文化研究、学校音楽の社会学的研究	人々が経験する「音楽」という営為の意味について、特に学校の場を中心に、生涯スパンで研究しています。
佐　藤　陽　治	教　授	体育教育、野外教育、保健教育	運動生理学を中心としたスポーツ科学、健康などの科学的分析。野外教育活動の意義。
須　田　将　司	教　授	教育史、教育会史、地域と学校の関係史	特に 1930-60 年代を中心に、恐慌、戦時、復興から高度成長へ至る激動期における学校と教員の役割や模索の実態解明を行っています。

※◎の付してある教員は、2027 年 3 月退職予定。

2. 2026 年度講義題目及び担当者

授業科目（講義題目）	副　題	単位	開講期間	担当者	備考
修士論文指導（教育学専攻）		2	集中（通年）	秋田喜代美 教授	
				飯沼慶一 教授	
				伊亜亜矢子 教授	
				岩崎淳 教授	
				大矢幸久 准教授	
				小原豊 教授	
				黒川雅子 教授	
				小国喜弘 教授	
				笹野恵理子 教授	
				須田将司 教授	
教育史概説（大学院 M）		2	第1学期	須田将司 教授	
教育史特殊研究Ⅰ（大学院 M）		2	第2学期	須田将司 教授	
特別支援教育特殊研究Ⅰ（大学院 M）		2	第2学期	河合隆平 非常勤講師	
特別支援教育事例研究Ⅰ（大学院 M）		2	第1学期	伊藤亜矢子 教授	
教師教育概説（大学院 M）		2	第1学期	黒川雅子 教授	
教師教育事例研究Ⅰ（大学院 M）		2	第2学期	田中昌弥 非常勤講師	
教師教育特殊研究Ⅰ（大学院 M）		2	第2学期	黒川雅子 教授	
教育行政特殊研究Ⅰ（大学院 M）		2	第1学期	田中洋 非常勤講師	
教育行政事例研究Ⅰ（大学院 M）		2	第2学期	藤田祐介 非常勤講師	
授業研究特殊研究Ⅰ（大学院 M）		2	集中（第1学期）	奈須正裕 非常勤講師	
授業研究事例研究Ⅰ（大学院 M）		2	第1学期	秋田喜代美 教授	
音楽教育概説（大学院 M）		2	第1学期	笹野恵理子 教授	
音楽教育事例研究Ⅰ（大学院 M）		2	第2学期	笹野恵理子 教授	
国語教育事例研究Ⅰ（大学院 M）		2	第1学期	岩崎淳 教授	
算数と ICT 事例研究Ⅰ（大学院 M）		2	第1学期	小原豊 教授	
算数と ICT 特殊研究Ⅰ（大学院 M）		2	集中（第2学期）	北島茂樹 非常勤講師	
英語教育特殊研究Ⅰ（大学院 M）		2	第1学期	渡邊万里子 非常勤講師	
社会科教育概説（大学院 M）		2	第2学期	小国喜弘 教授	
社会科教育特殊研究Ⅰ（大学院 M）		2	第1学期	小国喜弘 教授	
体育と健康・スポーツ科学概説（大学院 M）		2	第1学期	佐藤陽治 教授	
体育と健康・スポーツ科学事例研究Ⅰ（大学院 M）		2	第2学期	佐藤陽治 教授	
理科と環境事例研究Ⅰ（大学院 M）		2	第1学期	飯沼慶一 教授	
家庭科と食育事例研究Ⅰ（大学院 M）		2	第1学期	南道子 非常勤講師	
生活科と総合学習概説（大学院 M）		2	第1学期	大矢幸久 准教授	
総合学習特殊研究Ⅰ（大学院 M）		2	第2学期	大矢幸久 准教授	
教育学特別演習Ⅰ（大学院 M）		2	第1学期	浅井幸子 非常勤講師	
教育学特別研究Ⅰ（大学院 M）		2	集中（通年）	伊藤亜矢子 教授	
				小原豊 教授	
				小国喜弘 教授	
博士論文指導（教育学専攻）		2	集中（通年）	秋田喜代美 教授	
				飯沼慶一 教授	
				伊亜亜矢子 教授	
				岩崎淳 教授	
				大矢幸久 准教授	
				小原豊 教授	
				黒川雅子 教授	
				小国喜弘 教授	
				笹野恵理子 教授	
				須田将司 教授	
授業研究事例研究Ⅱ（大学院 D）		2	第2学期	秋田喜代美 教授	
特別支援教育事例研究Ⅱ（大学院 D）		2	第2学期	伊藤亜矢子 教授	
国語教育事例研究Ⅱ（大学院 D）		2	第2学期	岩崎淳 教授	
算数と ICT 事例研究Ⅱ（大学院 D）		2	第2学期	小原豊 教授	
理科と環境事例研究Ⅱ（大学院 D）		2	第2学期	飯沼慶一 教授	
教育学特別研究Ⅱ（大学院 D）		2	第1学期	秋田喜代美 教授	

XI　アーカイブズ学専攻

1．専任教員及び研究分野

氏　名	職名	専門分野・研究主題	研究の特徴・重点など
久保山　哲　二	教　授	情報科学、計算アーカイブズ学	大量の電子資料の保存・組織化・検索・展示に情報科学の知見（機械学習、ビッグデータ分析等）を取り入れ、アーキビストを支援するための新しい方法論を開拓する。
下　重　直　樹	教　授	アーカイブズ学、記録・アーカイブズ研究	記録・アーカイブズ研究を軸として、中長期的な制度設計と改善策を展望する観点から、日本を中心とした記録管理システムの史的経緯も視野に制度研究を進めている。
武　内　房　司◎	教　授	記録・アーカイブズ研究	中国・ヴェトナムを中心とした東アジア・東南アジア世界における記録システムの研究や、とくに中国の国家・社会集団の残した記録史料群の構造を研究する。
千　葉　　功	教　授	記録・アーカイブズ研究	日本の近代における組織の構造と機能を、記録作成システムの分析から研究する。とくに近代の記録史料群の特質をアーカイブズ学的に検討する。
保　坂　裕　興	教　授	アーカイブズ学、アーキビスト教育論	公文書館や企業アーカイブズにおける専門職教育、また基盤となる理論・標準・倫理について国際的観点から検討している。

※◎の付してある教員は、2027 年 3 月退職予定。

2．2026 年度講義題目及び担当者

授業科目（講義題目）	副　題	単位	開講期間	担当者	備　考
アーカイブズ学概論Ⅰ	現代アーカイブズ制度とその機能	4	通年	下重直樹教授	
アーカイブズ学概論Ⅱ	現代アーカイブズの構築と実施	4	通年	保坂裕興教授	
アーカイブズ学理論研究Ⅰ	アーカイブズ及びアーキビスト史（前近代）	2	第1学期	青木祐一講師	
アーカイブズ学理論研究Ⅰ		2	第1学期	宮間純一講師	
アーカイブズ学理論研究Ⅱ	海外基本文献講読（基礎）	2	第1学期	坂口貴弘講師	
アーカイブズ学理論研究Ⅱ	海外基本文献講読（応用）	2	第2学期	坂口貴弘講師	
記録アーカイブズ研究Ⅰ	前近代の組織と記録	2	第2学期	小宮山敏和講師 長坂良宏講師	
◆記録アーカイブズ研究Ⅱ	近現代日本の公文書管理制度の形成	2	第2学期	日向玲理講師	
記録アーカイブズ研究Ⅱ	現代日本の組織と記録	2	休講		
◆記録アーカイブズ研究Ⅲ	東アジアにおける記録の歴史と現在	2	第1学期	武内房司教授	
アーカイブズ管理研究Ⅰ	記録管理法制論 1	2	第1学期	早川和宏講師	
アーカイブズ管理研究Ⅰ	記録管理法制論 2	2	第2学期	早川和宏講師	
アーカイブズ管理研究Ⅱ	レコードキーピングの理論と実践	4	通年	大木悠佑助教 下重直樹教授	
アーカイブズ管理研究Ⅱ	現代の組織とレコードキーピング活動	2	第2学期	柏原洋太講師 村上大輔講師 他 国立公文書館職員	
アーカイブズ管理研究Ⅱ	レコード・マネジメント論	2	集中（通年）	古賀崇講師	
アーカイブズ管理研究Ⅲ	記録アーカイブズ保存と修復（基礎）	2	第1学期	青木睦講師	
アーカイブズ管理研究Ⅲ	記録アーカイブズ保存と修復（応用）	2	第2学期	青木睦講師	
アーカイブズ管理研究Ⅳ		2	第1学期	石原香絵講師	
アーカイブズ管理演習	アーカイブズの編成と記述	4	通年	加藤聖文講師	
デジタルアーカイブズⅠ	システムデザインと法務	2	第1学期	下重直樹教授 塩崎亮講師	
デジタルアーカイブズⅡ	サービスの構築と提供	2	第1学期	嘉村哲郎講師 一牛ゆかり講師 片岩真由講師	
デジタルアーカイブズ演習		4	通年	久保山哲二教授	
情報資源論Ⅰ	アーカイブズと歴史編纂	2	第1学期	中野目徹講師	
情報資源論Ⅱ	ミュージアム・アーカイブズ入門	2	休講		
アーカイブズ学演習	アーカイブズ学研究法	4	通年	保坂裕興教授	
アーカイブズ学演習	アーカイブズ学研究法	4	通年	下重直樹教授	
アーカイブズ実習	実地経験による理解と発見	4	通年	保坂裕興教授	
アーカイブズ実習	実地経験による理解と発見	4	通年	下重直樹教授	
博士論文指導（アーカイブズ学専攻）		2	集中（通年）	下重直樹教授	

◆印は大学院授業科目であるが、学部生が履修する場合もある。

Ⅻ　身体表象文化学専攻

1．専任教員及び研究分野

氏　名	職名	専門分野・研究主題	研究の特徴・重点など
佐　々　木　果	教　授	マンガ・アニメーション芸術	「マンガ・アニメーション芸術批評研究 A ／ B」「マンガ・アニメーション芸術文化論演習 A」を担当。マンガやアニメーション及びその関連領域について広く学際的な関心を持って研究しています。マンガの編集者として創作の現場に関わっていた経験から、作品の成り立ちや文化的な問題には関心がありますが、それ以上に歴史研究に力を入れて取り組んできました。マンガやアニメーションなどのメディアを日本だけでなくグローバルな観点から歴史としてとらえ、その上であらためて現代的な問題に切りこんでいきたいと考えています。
須　藤　健　太　郎	准教授	映像芸術	「映像芸術文化論演習 A」を担当。専門は映画批評。フランスのヌーヴェル・ヴァーグを中心に、古今東西あらゆる映画に関心を持つことを心掛けてきました。ヌーヴェル・ヴァーグへの関心はひとまず『評伝ジャン・ユスターシュ』に結実し、時代や地域にこだわらずさまざまな種類の映画について論じた文章は映画批評集『作家主義以後』にまとめました。現在は、「編集（デクパージュ／モンタージュ）」の問題に着目し、映画と諸芸術の関係をめぐる考察を進めています。
田　丸　理　砂	教　授	ジェンダー表象	「ジェンダー文化論演習」を担当。社会の民主化及び大衆化とジェンダーイメージの関係性に注目して研究を進めています。なかでも世界のグローバル化の先駆けともいえる「モダンガール」現象、そして「少女」「女の子」のイメージに関心をもっています。今日、文化研究にはジェンダーの視点は欠くことはできませんが、ジェンダーとともにセクシュアリティ、階層（格差）、エスニシティなどと組み合わさった交差性も強く意識していきたいと考えています。
中　野　春　夫	教　授	舞台芸術 身体表象文化史	「身体表象文化史演習」を担当。国際演劇評論家協会、日本英文学会、日本シェイクスピア協会に所属。本専攻では、身体表象に関する歴史的な文化差異を演劇作品や図像、絵画、マンガ、アニメなどから系譜学的、受容史的に分析していきたいと思います。主要著書は『恋のメランコリー―シェイクスピア喜劇世界のシミュレーション』、「シェイクスピアは彼らの同時代人」（『英語青年』連載論）、『シェイクスピアの英語で学ぶ決め台詞』。
水　野　雅　司	教　授	映像芸術	「映像芸術文化論演習 B」を担当。主に第二次世界大戦期の体験や出来事の影響のなかで創作している作家・芸術家を中心に研究をしています。現在でも戦禍や災厄に敏感に反応した作品が生み出されていますが、言語化・物語化しがたい体験や感情を伝達するために芸術家たちがどのような表現形式の探求・創造を試みているのかという観点から、映像芸術における表現の問題について理解を深めていければと考えています。

2. 2026 年度講義題目及び担当者

授業科目（講義題目）	副　題	単位	開講期間	担当者	備　考
舞台芸術批評研究	日本演劇の表現原理を探る	4	通年	横山太郎講師	
映像芸術批評研究 A		4	通年	高崎郁子講師	
◆映像芸術批評研究 B	メロドラマ論	4	通年	鷲谷　花講師	
◆マンガ・アニメーション芸術批評研究 A		4	通年	佐々木　果教授	
マンガ・アニメーション芸術批評研究 B		4	通年	佐々木　果教授	
舞台芸術文化論演習 A	Tragédies bibliques（Suite）	4	通年	ティエリ・マレ教授	
◆舞台芸術文化論演習 B	歌と踊りのない演劇はなぜヨーロッパで生まれたのか	4	通年	横山義志講師	
◆映像芸術文化論演習 A	映画作品分析再入門	4	通年	須藤健太郎准教授	
◆映像芸術文化論演習 B	カタストロフィと映像表現	4	通年	水野雅司教授	
マンガ・アニメーション芸術文化論演習 A		4	通年	佐々木　果教授	
◆マンガ・アニメーション芸術文化論演習 B		4	通年	原口正宏講師	
◆ジェンダー文化論演習	近年のジェンダー研究の動向を追う	4	通年	田丸理砂教授	
身体表象文化史演習		4	通年	中野春夫教授	
◆表象文化制度論演習 A	ドラマの構造分析	4	通年	松井憲太郎講師	
◆表象文化制度論演習 B	演劇再考	4	通年	岡村正太郎助教	
◆ジェンダー表象批評研究	韓国および日本における美容医療とジェンダー	2	第1学期	春木育美講師	
◆ジェンダー表象批評研究	韓国のポピュラーカルチャーとジェンダー	2	第2学期	春木育美講師	
修士論文指導（身体表象文化学専攻）		2	集中（通年）	田丸理砂教授	
博士論文指導（身体表象文化学専攻）		2	集中（通年）	田丸理砂教授	

◆印は大学院授業科目であるが、学部生が履修する場合もある。

XIII　各専攻共通

2026 年度講義題目及び担当者

授業科目（講義題目）	副　題	単位	開講期間	担当者	備　考
言語学特殊研究（大学院）	認知文法研究	4	通年	西村義樹講師	注1)
◆ギリシア・ラテン文学特殊研究	『黄金のロバ（変身物語）』のドラマ	2	集中（第1学期）	本間俊行講師	注1)
◆ギリシア・ラテン文学特殊研究	トロイア伝承と初期ギリシア叙事詩―『イリアス』を中心に―	2	第１学期	古澤香乃講師	注1)
◆上級古典語（古典ギリシア語）	『恋がたき／恋する者たち』講読	2	第２学期	田代嶺講師	注2)
◆上級古典語（古典ギリシア語）	ギリシア語韻文を読む	2	第２学期	古澤香乃講師	注2)
◆上級古典語（ラテン語）	セネカ『摂理について』講読	2	第１学期	田代嶺講師	注2)
◆上級古典語（ラテン語）		2	第１学期	古澤香乃講師	注2)
◆漢語原書講読		4	通年	王瑞来講師	注2)
比較文学特殊研究（大学院）	「怪談」とその種本	4	通年	南條竹則講師	注2)
アカデミック・ライティング（大学院）		4	通年	MCPHALEN, Keith Andrew 講師	注1)
◆国際文化学特殊研究	フェミニズムとジェンダー問題	2	第２学期	田村俊行講師	注2)
◆国際文化学特殊研究		2	第１学期	河内春人講師	注2)
◆国際文化学特殊研究	東アジアの工芸文化	4	通年	金寅圭講師	注2)
教育学演習Ⅰ		2	第１学期	伊藤亜矢子教授	注3)
教育学演習Ⅱ		2	第１学期	小国喜弘教授	注3)
教育特殊研究Ⅰ	専修免許状取得希望者の特別研究	2	集中（通年）	黒川雅子教授	注3)
教育特殊研究Ⅱ		2	第１学期	岩崎淳教授	

◆印は大学院授業科目であるが、学部生が履修する場合もある。
注 1）複数回履修は不可。
注 2）複数回履修は可。
注 3）教職課程に関する科目であるため、各研究科所定の単位に含むことはできない。

委託生、科目等履修生

●正規の学生の修学に妨げのない限り、委託生・科目等履修生の入学の制度があります。
●委託生とは、官公庁、外国政府、その他の機関又は団体の委託に基づき本大学院において修学を許可された学生をいいます。
●科目等履修生とは、本大学院において１科目又は数科目の修学を許可された学生をいいます。

※本要項に関するお問合せは、下記宛にお願いいたします。

学習院大学アドミッションセンター（西５号館４階）

〒171-8588　東京都豊島区目白１－５－１
TEL　　（03）5992－1083・（03）5992－9226
Email　　adms-enq@gakushuin.ac.jp
窓口受付時間　平　日　9：00～11：30、13：00～16：30
土曜日　9：00～12：00
https://www.univ.gakushuin.ac.jp/admissions/